

令和2年度  
研修講座案内  
～研修の手引～



**福島県教育センター**



# 目次

I	令和2年度研修講座の目的と構成について	1
1	はじめに	1
2	研修講座の目的	1
3	研修講座の構成	1
II	研修講座受講の手続き及び留意事項等について	2
1	研修講座受講の流れ	2
2	研修講座受講の手続き	2
(1)	研修対象者及び受講希望者の報告	2
(2)	受講者決定通知	6
(3)	研修講座要項及び各種様式の確認	7
(4)	受講者決定通知の流れ	9
3	受講上の留意事項等	10
(1)	研修者の旅費について	10
(2)	研修講座の日程について	11
(3)	研修者に関する変更について	12
(4)	研修における宿泊について	13
(5)	講座聴講について	14
(6)	講師派遣について	14
III	受講者決定通知	15
1	「基本研修・職能研修講座の受講者について（通知）」（例）	15
2	「専門研修講座の受講者について（通知）」（例）	16
IV	各種様式	17
1	「基本研修の研修者に関する変更について」（様式2-1）（様式2-2）	17
2	「職能研修の研修者に関する変更について」（様式3-1）（様式3-2）	18
3	「専門研修の研修者に関する変更について」（様式4-1）（様式4-2）	19
4	「聴講申込書」〔教職員用〕（様式5-1）	20
5	「講師派遣申請書」（様式7-1）	20
V	研修講座一覧	21
1	基本研修講座	21
2	職能研修講座	27
3	専門研修講座	29
4	自主講座	35
VI	令和2年度福島県教育センター研修カレンダー	37
VII	周辺地図、交通アクセス等	49
1	周辺地図、交通アクセス	49
2	敷地案内図（研修者駐車場案内）	50
3	令和2年度カリキュラムセンター事業内容のご案内	51

福島県教育センターWebサイトにも、「研修講座案内」「各種様式」が掲載されています。あわせてご利用ください。

## I 令和2年度研修講座の目的と構成について

### 1 はじめに

児童生徒一人一人の学力や人間性の向上は、教職員の指導力にかかっており、今まさに「教職員一人一人の資質・能力の向上」が強く求められています。平成29年には「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」が策定され、教員等が高度専門職としての職責、経験及び適性に応じて身に付けるべき資質が明確化されました。

福島県教育センターは、令和2年度福島県公立学校教職員現職教育計画に基づき、基本研修50講座、職能研修13講座、専門研修42講座を開設します。

昨年度は、基本研修及び職能研修に延べ4,116名、専門研修に延べ698名、全体で延べ4,814名の教職員が受講しました。

この冊子は、教職員の皆さんに教育センターを利用していただくための手引となるものです。ご活用をお願いします。

※ 福島県版校長及び教員としての資質の向上に関する指標、福島県公立学校教職員現職教育計画は、福島県教育委員会Webサイトに掲載されています。

### 2 研修講座の目的

#### 基本研修講座

本県における教職員現職教育計画に基づき、初任者研修（新規採用者研修）、2年次教員フォローアップ研修、経験者研修Ⅰ、経験者研修Ⅱ、経験者研修Ⅲを行い、教職員としての基本的資質の向上、その後の教職経験に応じた職務遂行能力の向上及び広い視野に立った教育実践について、力量の向上を図る。

#### 職能研修講座

本県における教職員現職教育計画に基づき、職能研修として職能研修Ⅰ、職能研修Ⅱを行い、個々の職責・職能に応じた教育活動に関する資質・能力の向上を図る。

#### 専門研修講座

本県における学校教育の質的向上を図るために専門研修Ⅱを行い、各教科、教育相談、情報教育、道徳・特別活動、放射線・防災教育、学校保健等に関する専門的内容について研修を行い、その指導力を高め、学校や地域における教育活動の推進と充実に寄与する。

### 3 研修講座の構成

#### 基本研修講座〔50講座〕（P21～26 講座番号K01～K51）

- 初任者研修、新規採用者研修  
… 教職員としての基礎・基本を習得する研修
- 2年次教員フォローアップ研修  
… 初任者研修を修了した教諭に対して、培った力を高め資質の向上を図る研修
- 経験者研修Ⅰ… 教職員としての専門的知識・技能を高め、資質の向上を図る研修
- 経験者研修Ⅱ… 教職員としての10年の経験を踏まえ、幅広い識見に基づき、組織運営の中核となる人材の育成と職務遂行能力の更なる向上を図る研修
- 経験者研修Ⅲ… 教務主任、学年主任等の中堅教員を対象として、学校管理運営上の諸問題の解決や専門的な職能の向上を図る研修

#### 職能研修講座〔13講座〕（P27～28 講座番号S01～S14）

- 職能研修Ⅰ… 新任の校長・副校長・教頭・主幹教諭・教務主任等を対象に、学校経営や教育活動の統括的役割について、資質・能力の向上を図る研修
- 職能研修Ⅱ… 学校の実態に応じた教育課程や諸教育活動が円滑に展開できるよう、担当教員の資質・能力の向上を図る研修  
(15年の経験を踏まえた養護教諭の研修を含む)

#### 専門研修講座〔42講座〕（P29～34 講座番号A01～D05）

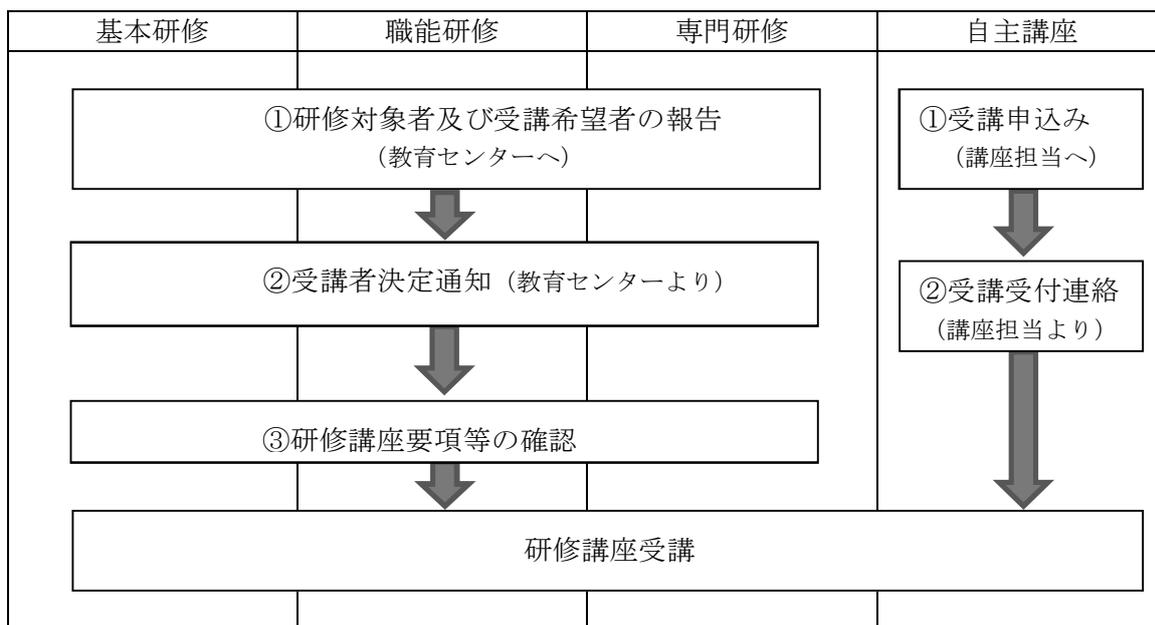
- 専門研修Ⅱ… 各種の実践を通して専門職としての識見、力量の向上を図る研修

#### 自主講座〔4講座〕（P35 講座番号1～4）

- 自主講座… 週休日等を利用しての自主的参加による研修

## II 研修講座受講の手続き及び留意事項等について

### 1 研修講座受講の流れ



### 2 研修講座受講の手続き

#### (1) 研修対象者及び受講希望者の報告

##### ① 研修対象者について

基本研修、職能研修、専門研修の研修対象者は、福島県公立学校の教職員（中核市を除く）となっているが、講座によって中核市や私立幼稚園等の教職員も含まれるものがある。詳しくは、「**V 研修講座一覧**」で確認する。

##### ② 受講希望者の報告について

###### ア 基本研修について

「2年次教員フォローアップ研修」「経験者研修Ⅰ」「経験者研修Ⅱ」については、教育センターまたは市町村教育委員会からの照会により、【表1】～【表3】（P3～5）を基に、教職員の経験年数の確認を確実にし、【表4】及び【表5】（P6）の各報告期日までに報告する。

※ 【表4】及び【表5】に示されていない基本研修講座については、教育センターまたは市町村教育委員会からの照会により報告する。

###### イ 職能研修について

教育センターまたは市町村教育委員会からの照会により、【表4】及び【表5】の各報告期日までに報告する。

※ 【表4】及び【表5】に示されていない職能研修講座については、教育センターまたは市町村教育委員会からの照会により報告する。

###### ウ 専門研修について

教育センターまたは市町村教育委員会からの照会により、【表4】及び【表5】の各報告期日までに報告する。

###### エ 自主講座について

教育センターからの案内により、受講を希望する者が、直接講座担当へFAXかEmailで申し込む。

【表 1】 福島県公立幼稚園等経験者研修Ⅱの対象者及びその在職期間の計算方法等について

対 象 者
<p>本研修の対象者は、「福島県教育委員会 幼稚園等経験者研修Ⅱ 実施要項 3 対象」に記載されている教員とする。具体的には以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 福島県公立幼稚園等の教員で、国立、公立又は私立の幼稚園等の教諭として採用後10年（期限付き等での教職経験を除く。）を経過した者</li> <li>○ 前年度までの該当者で、未受講の者</li> </ul>
在 職 期 間 の 計 算 方 法 等
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 在職期間は、国立、公立又は私立の幼稚園等の教諭として在職した期間（臨時的に任用された期間を除く。）を通算した期間とする。</li> <li>2 指導主事、管理主事、社会教育主事等として学校教育又は社会教育に関する事務に従事した期間があるときは、その期間は、当該在職期間に通算する。</li> <li>3 在職期間のうちに次に掲げる期間が引き続き1年以上あるときは、その期間の年数（1年未満の端数があるときは、これを切り捨てた年数）を当該在職期間から除算する。なお、産前産後の休暇期間は在職期間として扱う。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 休職又は停職により現実に職務を執ることを要しない期間</li> <li>(2) 職員団体の役員として専ら従事した期間</li> <li>(3) 育児休業をした期間</li> <li>(4) 私立の幼稚園等の教諭として在職した期間について、(1)又は(3)の期間に準ずるものとして任命権者が認める期間</li> <li>(5) その他 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地方公共団体において定められた条例等の規定に基づき、負傷又は疾病による療養のため休暇を取得した期間</li> <li>② 国外勤務を命ぜられた配偶者に随伴するために配偶者同行休業を取得した期間</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol> <p>【対象から除く者】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 臨時的に任用された者</li> <li>2 他の任命権者が実施する当該経験者研修を受けた者</li> <li>3 任期を定めて採用された者</li> </ol>

※ 幼稚園等とは、幼稚園及び認定こども園のことをいう。

【表2】

福島県公立小学校、中学校、高等学校  
 悉皆研修の対象者及びその在職期間の計算方法等について

対 象 者	
<p>下の各研修の対象者は、「福島県教育委員会 経験者研修Ⅰ 実施要項 3 対象」、「福島県教育委員会 経験者研修Ⅱ 実施要項 3 対象」に記載されている教員、及び在職期間が15年に達した養護教諭とする。具体的には以下のとおり。</p>	
2年次教員 フォローアップ 研修	<p>&lt;教諭（採用校種が特別支援学校の教諭を除く。）&gt;            ○ 福島県公立学校の教員で、初任者研修を修了し、新規採用後1年を経過した者            ○ 前年度までの該当者で、未受講の者            ○ 採用校種が特別支援学校の教諭については、特別支援教育センターに報告する。</p>
経験者研修Ⅰ	<p>&lt;教諭（採用校種が特別支援学校の教諭を除く。）・養護教諭&gt;            ○ 福島県公立学校の教員で、国立、公立又は私立の学校の教諭等としての経験も含め、採用後5年（期限付き等での教職経験を除く。）を経過した者、及び前年度までの該当者で、未受講の者            ○ 採用校種が特別支援学校の教諭については、特別支援教育センターに報告する。</p>
経験者研修Ⅱ	<p>&lt;教諭（採用校種が特別支援学校の教諭を除く。）・養護教諭&gt;            ○ 福島県公立学校の教員で、国立、公立又は私立の学校の教諭等として採用後10年（期限付き等での教職経験を除く。）を経過した者、及び前年度までの該当者で、未受講の者            ○ 採用校種が特別支援学校の教諭については、特別支援教育センターに報告する。</p>
養護教諭 専門研修講座 (職能研修)	<p>&lt;養護教諭&gt; 【隔年実施】（令和2年度実施）            ○ 昭和57年以降に、福島県公立小・中学校又は県立学校に採用された養護教諭で、国立、公立又は私立の学校の養護教諭として採用後15年（期限付き等での教職経験を除く。）を経過した者、及び前年度までの該当者で、未受講の者</p>
在 職 期 間 の 計 算 方 法 等	
<p>1 在職期間は、国立、公立又は私立の学校の教諭として在職した期間（臨時的に任用された期間を除く。）を通算した期間とする。</p> <p>2 指導主事、管理主事、社会教育主事等として学校教育又は社会教育に関する事務に従事した期間があるときは、その期間は当該在職期間に通算するものとする。</p> <p>3 在職期間のうち次に掲げる期間が引き続き1年以上あるときは、その期間の年数（1年未満の端数があるときは、これを切り捨てた年数）を当該在職期間から除算する。なお、産前産後の休暇期間は在職期間として扱う。</p> <p>(1) 休職または停職により現実に職務を執ることを要しない期間</p> <p>(2) 職員団体の役員として専ら従事した期間</p> <p>(3) 育児休業をした期間</p> <p>(4) 私立の学校の教諭等として在職した期間について、(1)又は(3)の期間に準じるものとして任命権者が認める期間</p> <p>(5) その他</p> <p>① 地方公共団体において定められた条例等の規定に基づき、負傷又は疾病による療養のため休暇を取得した期間</p> <p>② 国外勤務を命ぜられた配偶者に随行するために配偶者同行休業を取得した期間</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 在職期間に、次に掲げる期間がある場合は、在職期間に換算し、現場に復帰した時点で未受講の経験者研修を実施する。ただし、経験者研修Ⅰを受講せずに10年を経過してしまった場合は、経験者研修Ⅱを受講するものとする。</p> <p>① 県教育庁、市町村教育委員会、福島大学附属学校、文化振興事業団等に勤務した期間</p> <p>② 大学院、REX（外国教育施設日本語指導教員派遣事業）に派遣された期間</p> <p>(2) 経験が15年程度となった場合でも、経験者研修Ⅱを受講していない場合は受講する。</p> <p>(3) 小・中交流研修（中・高交流研修）中に経験者研修の対象者となった場合は、交流研修をもって経験者研修受講とみなす。ただし、会津学鳳中学校・高等学校間及びふたば未来学園中学校・高等学校間中は中・高交流研修とはみなさない。中学校・高等学校のどちらで研修を受けるかは、校長と協議の上決定する。</p> <p>(4) 指導主事、管理主事、社会教育主事等の職にある間は、その在職期間内に経験者研修の該当年数に達したとしても、経験者研修の対象者とはならない。ただし、指導主事等の在職期間を終え、異動によって教諭等となった者は経験者研修の対象となる。</p> <p>(5) その他特殊なケースについては、教育センター所長の判断によるものとする。</p> <p>【対象から除く者】</p> <p>1 臨時的に任用された者</p> <p>2 他の任命権者が実施する当該経験者研修を受けた者</p> <p>3 任期を定めて採用された者</p>	

【表3】

福島県公立学校栄養職員  
 悉皆研修の対象者及びその在職期間の計算方法等について

対 象 者	
<p>本研修の対象者は、「福島県教育委員会 経験者研修Ⅰ 実施要項 3 対象」、「福島県教育委員会 経験者研修Ⅱ 実施要項 3 対象」に記載されている学校栄養職員、及び在職期間が15年に達した学校栄養職員とする。具体的には以下のとおり。</p>	
経験者研修Ⅰ	<p>○ 福島県公立学校の学校栄養職員で、国立、公立又は私立の学校の学校栄養職員としての経験も含め、採用後5年（期限付き等での学校栄養職員経験を除く。）を経過した者、及び前年度までの該当者で、未受講の者</p> <p style="text-align: right;">【隔年実施】（令和3年度実施）</p>
経験者研修Ⅱ	<p>○ 福島県公立学校の学校栄養職員で、国立、公立又は私立の学校の学校栄養職員として採用後10年（期限付き等での学校栄養職員経験を除く。）を経過した者、及び前年度までの該当者で、未受講の者</p> <p>○ 上記に該当する者で、学校栄養職員として採用された後、栄養教諭に任用替した者を除く。</p> <p style="text-align: right;">【隔年実施】（令和2年度実施）</p>
学校栄養職員 専門研修講座 (職能研修)	<p>○ 昭和57年以降に、福島県公立小・中学校又は県立学校に採用された学校栄養職員で、国立、公立又は私立の学校の学校栄養職員として採用後15年（期限付き等での学校栄養職員経験を除く。）を経過した者、及び前年度までの該当者で、未受講の者</p> <p>○ 上記に該当する者で、学校栄養職員として採用された後、栄養教諭に任用替した者を除く。</p> <p style="text-align: right;">【隔年実施】（令和3年度実施）</p>
在 職 期 間 の 計 算 方 法 等	
<p>1 在職期間は、国立、公立又は私立の学校の学校栄養職員等として在職した期間（臨時的に任用された期間を除く。）を通算した期間とする。</p> <p>2 指導主事、管理主事、社会教育主事等として学校教育又は社会教育に関する事務に従事した期間があるときは、その期間は当該在職期間に通算するものとする。</p> <p>3 在職期間のうちに次に掲げる期間が引き続き1年以上あるときは、その期間の年数（1年未満の端数があるときは、これを切り捨てた年数）を当該在職期間から除算する。なお、産前産後の休暇期間は在職期間として扱う。</p> <p>(1) 休職又は停職により現実に職務を執ることを要しない期間</p> <p>(2) 職員団体の役員として専ら従事した期間</p> <p>(3) 育児休業をした期間</p> <p>(4) 私立の学校の栄養士等として在職した期間について、(1)又は(3)の期間に準ずるものとして任命権者が認める期間</p> <p>(5) その他</p> <p>① 地方公共団体において定められた条例等の規定に基づき、負傷又は疾病による療養のため休暇を取得した期間</p> <p>② 国外勤務を命ぜられた配偶者に随伴するために配偶者同行休業を取得した期間</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 在職期間に、次に掲げる期間がある場合は在職期間に換算し、現場に復帰した時点で未受講の経験者研修を実施する。ただし、経験者研修Ⅰを受講せずに10年を経過してしまった場合は、経験者研修Ⅱを受講するものとする。</p> <p>① 県教育庁、市町村教育委員会、福島大学附属学校、財団法人福島県学校給食会に勤務した期間</p> <p>② 大学院に派遣された期間</p> <p>(2) 経験が15年程度となった場合でも、経験者研修Ⅱを受講していない場合は受講する。</p> <p>(3) 指導主事、管理主事、社会教育主事等の職にある間は、その在職期間内に経験者研修の該当年数に達したとしても、経験者研修の対象者とはならない。ただし、指導主事等の在職期間を終え、異動によって学校栄養職員となった者は経験者研修の対象となる。</p> <p>(4) その他特殊なケースについては、教育センター所長の判断によるものとする。</p> <p><b>【対象から除く者】</b></p> <p>1 臨時的に任用された者</p> <p>2 他の任命権者が実施する当該経験者研修を受けた者</p> <p>3 任期を定めて採用された者</p>	

【表4】報告期限<公立幼稚園等・小学校・中学校の場合（※は一部特別支援学校を含む）>

		学 校	市町村教育委員会	教育事務所
		→市町村教育委員会	→教育事務所	→教育センター
基本 研修	幼稚園等新規採用教員研修 小・中学校初任者研修 新規採用養護教諭研修※ 新規採用学校栄養職員研修※ 2年次教員フォローアップ研修	各学校は、各市町村教育委員会から指定された照会様式、期日で送付する。	市町村教育委員会は、各教育事務所から指定された照会様式、期日で送付する。	教育事務所は、教育センターから指定された照会様式、期日で送付する。
	小学校経験者研修Ⅰ 中学校経験者研修Ⅰ※ 養護教諭経験者研修Ⅰ※ 幼稚園等経験者研修Ⅱ 小学校経験者研修Ⅱ 中学校経験者研修Ⅱ 養護教諭経験者研修Ⅱ※ 学校栄養職員経験者研修Ⅱ※ (隔年：2年度実施)			
職能 研修	複式指導（国語・算数）担当教員研修会（小） 免許外教科担任教員研修会（中） 養護教諭専門研修講座※ (隔年：2年度実施)	令和2年 4月3日（金）	令和2年 4月7日（火）	令和2年 4月10日（金）
専門 研修	すべての講座	令和2年 4月17日（金）	令和2年 4月21日（火）	令和2年 5月1日（金）

【表5】報告期限<高等学校の場合（※は一部特別支援学校を含む）>

		学 校 → 教育センター
基本 研修	高等学校初任者研修 新規採用養護教諭研修※ 2年次教員フォローアップ研修	令和2年4月10日（金）
	高等学校経験者研修Ⅰ※ 養護教諭経験者研修Ⅰ※ 高等学校経験者研修Ⅱ※ 養護教諭経験者研修Ⅱ※	
職能 研修	高等学校新任教務主任研修会	令和2年4月10日（金）
専門 研修	すべての研修	令和2年5月1日（金）

(2) 受講者決定通知

下に示す研修講座の受講者決定通知は、市町村立幼稚園等、小・中学校については、教育センターから教育事務所、市町村教育委員会を經由して電子メールにより当該校に通知する。また、県立学校については、教育センターから電子メールにより当該校に直接通知する。

	研修講座	教育センターからの送付予定期日
基本 研修	(全校種) 初任者研修・新規採用研修 (小・中・高) 2年次教員フォローアップ研修 (全校種) 経験者研修Ⅰ (全校種) 経験者研修Ⅱ	令和2年 4月24日（金）
職能 研修	複式指導（国語・算数）担当教員研修会 免許外教科担任教員研修会 養護教諭専門研修講座	
専門 研修	すべての講座	令和2年 5月29日（金）

(3) 研修講座要項及び各種様式の確認

下に示す研修講座の講座要項等の確認は、教育センターWebサイトを通じて行う。それ以外の研修講座の講座要項等については、Email 等により当該校へ送付する。

	研修講座	Webアップ期日
基本研修	(全校種) 初任者研修・新規採用者研修 (小中高) 2年次教員フォローアップ研修 (全校種) 経験者研修 I (全校種) 経験者研修 II	令和2年 3月19日(木)
職能研修	複式指導(国語・算数)担当教員研修会 免許外教科担任教員研修会 養護教諭専門研修講座	
専門研修	すべての講座	

研修講座要項及び各種様式の確認方法

(1) 研修講座要項

- ① 福島県教育センターWebサイトを表示する。
- ② 「教育センターにおける研修」メニューから研修の種類(基本研修・専門研修・職能研修等)を選択してクリックする。

The screenshot shows the website's navigation bar with 'HOME', 'Education Center Today', 'Center Overview', and 'Education Center Training' (selected). The main content area is titled 'Education Center Training' and lists various training categories:
 

- 研修講座案内: 教育センター利用の手引となるものです
- 基本研修: 初任者・新規採用者研修、2年次教員フォローアップ研修、経験者研修
- 専門研修: 生徒指導・教育相談、各教科、情報教育、道徳・特別活動、放射線・防災、養護に関する専門的内容についての研修 ※専門研修イメージビデオ.mp4
- 職能研修: 各学校における職責、職務に応じた教育活動に関する研修
- 聴講講座: 外部講師の先生方の講座を聴講できます
- 自主講座案内: 週休日等を利用しての自主的参加による研修

- ③ 各研修名の下での研修講座要項をクリックする。

ログイン

The screenshot shows the 'New Recruits/Novice Teacher Training' page. The left sidebar menu has 'New Recruits/Novice Teacher Training' selected. The main content area lists sub-categories:
 

- 幼稚園等新規採用教員研修: 研修の手引, 各種様式, 研修講座要項
- 小・中学校初任者研修: 研修の手引(小・中), 研修テキスト(小・中), 研修資料(第1章～第7章), 各種様式, 研修講座要項
- 高等学校初任者研修: 研修の手引(高), 研修テキスト(高), 研修資料(第1章～第7章), 各種様式, 研修講座要項
- 新規採用養護教諭研修: 研修の手引(小・中), 研修の手引(高), 研修の手引(特支), 研修テキスト(養護), 研修資料(第1章～第7章), 各種様式, 研修講座要項

(2) 各種様式

「各種様式」からは、基本研修に必要な計画書・報告書や研修の変更願、聴講申込書等の様式をダウンロードすることができる。

- ① 福島県教育センターWebサイトの「教育センターにおける研修」メニューの「各種様式」をクリックすると、「各種様式」画面が表示される。
- ② 様式ファイルの上にカーソルをあて、右クリックで「名前を付けてリンク先を保存」を選択し、いったん保存してから開く。

ログイン



HOME
教育センターの今
センター概要 >
教育センターにおける研修 ▾
校長及び教員としての資質の向上に関する指標
基本研修 >
専門研修
職能研修
自主講座案内
研修講座案内
研修における食事について
研修における宿泊について
研修講座受講後のアンケート
各種様式 ▾

**各種様式**

※それぞれのリンクを右クリックして「対象をファイルに保存」または「名前を付けてリンク先を保存」を選択し、適当な場所に保存してお使いください。

◆幼稚園等関係様式

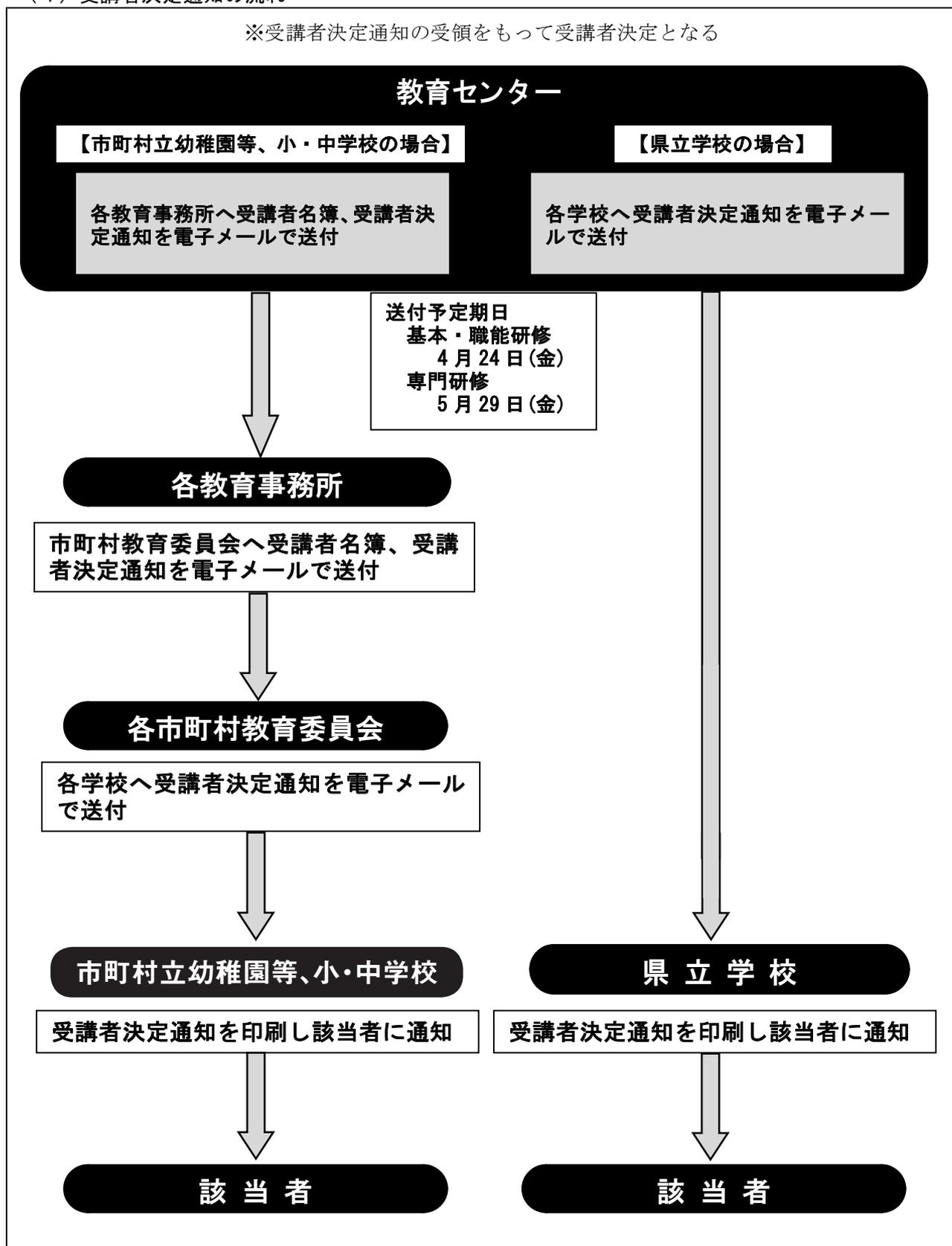
研修種別	一太郎形式	Word形式	Excel形式
新規採用教員研修	【幼稚園等新採研様式集】.jtd	【幼稚園等新採研様式集】.docx	—
経験者研修Ⅱ	【幼稚園経験Ⅱ様式2345(計画書等)】.jtd	【幼稚園経験Ⅱ様式2345(計画書等)】.docx	【幼稚園経験Ⅱ様式1-1,2(評価表)】.xls

◆小・中学校関係様式

研修種別	一太郎形式	Word形式	Excel形式
初任者研修	【H31_小・中初任研様式集】.jtd	—	【R01_様式1-1、2-1(拠点校)】.xlsx 【R01_様式1-2、2-2(一人配置校)】.xlsx 【R01_様式1-3、2-3(メンテナンス)】.xlsx
2年次教員フォローアップ		【小中2年次様式	

(4) 受講者決定通知の流れ

※受講者決定通知の受領をもって受講者決定となる



※ 受講者決定通知の書式については、基本研修・職能研修は15ページ、専門研修は16ページをご覧ください。

### 3 受講上の留意事項等

#### (1) 研修者の旅費について

- ① 基本研修（幼稚園等研修を除く）、職能研修、専門研修を受講する場合  
「指定研修旅費」とする。ただし、通いをもって宿泊研修を行う場合は「普通旅費」とする。
- ② 自主講座を受講する場合  
受講者の負担とする。

## 教育センターにおける宿泊研修要項

福島県教育委員会

この教育センターにおける宿泊研修要項（以下「要項」という。）は、教育センターにおける宿泊研修を円滑に実施するため、教職員の服務の実態を踏まえて、より適切な取扱いを行うことを目的として定める。

#### 1 取扱い

当分の間、次のとおり取り扱うものとする。

- (1) 宿泊研修は、従来どおり、教育センターの宿泊施設に宿泊して研修することを原則とする。
- (2) 宿泊研修の旅行命令を行うに当たって、教職員から宿泊することが困難であることの申し出があった場合は、公立小・中学校長は当該教育事務所長を通じて教育センター所長と、県立学校長は教育センター所長とそれぞれ協議し、その結果を踏まえ、当該教職員が通いをもって当該研修を行うことを認めることができるものとする。
- (3) 各教育事務所長及び県立学校長は、欠席及び通所等の届けを、教育センター所長へ提出するものとする。
- (4) 所属長は、教職員が通いをもって当該研修を行う場合は、旅費は普通旅費を支給するものとする。

#### 2 この要項は、平成24年8月1日から実施する。

#### 〔通所と食費〕

通所が認められた場合は、原則として夕食及び朝食を取り消すものとする。なお、通所の決定が研修講座要項に記載されている期日以降の場合には、食事の取り消しができないため、食費は受講者の負担となる。

(2) 研修講座の日程について

研修講座日程は、原則として次の①②となっているが、研修講座によってはこれらと異なる場合がある。詳細は、教育センターWebサイトに掲載されている研修講座要項を確認する。

① 教育センター等における研修

ア 1日研修

時刻 日	9:40	9:50	10:00	12:00	13:00	15:45	16:00
第1日		受付	開会	講座計画による		講座計画による	閉会

イ 1泊2日研修

時刻 日	9:40	9:50	10:00	12:00	13:00	16:45	17:00
第1日		受付	開会	講座計画による		講座計画による	諸連絡
第2日	8:30			12:00	13:00	15:00	15:15
		講座計画による			講座計画による	閉会	

ウ 2泊3日研修

時刻 日	9:40	9:50	10:00	12:00	13:00	16:45	17:00
第1日		受付	開会	講座計画による		講座計画による	諸連絡
第2日	8:30			12:00	13:00	16:45	
		講座計画による			講座計画による		諸連絡
第3日	8:30			12:00	13:00	15:00	15:15
		講座計画による			講座計画による	閉会	

② 地区別研修

ア 1日研修

時刻 日	9:40	9:50	10:00	12:00	13:00	16:00	16:15
第1日		受付	開会	講座計画による		講座計画による	閉会

イ 半日研修

時刻 日	13:30	13:40	13:50	16:00	16:15
第1日		受付	開会	講座計画による	閉会

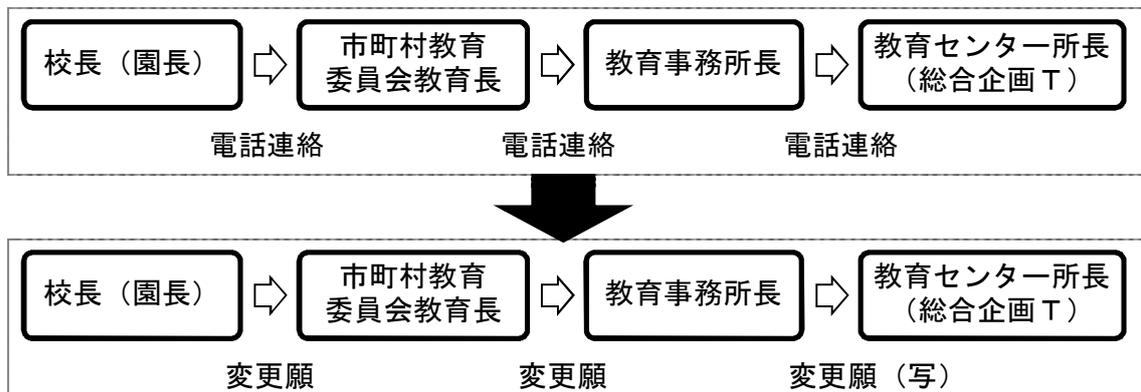
(3) 研修者に関する変更について（欠席、遅刻、早退、班の交換、通所、取り消し等）

研修者に関する変更が生じた場合、次の手順により「研修者変更願」を提出する。

<幼稚園等、小・中学校の場合>

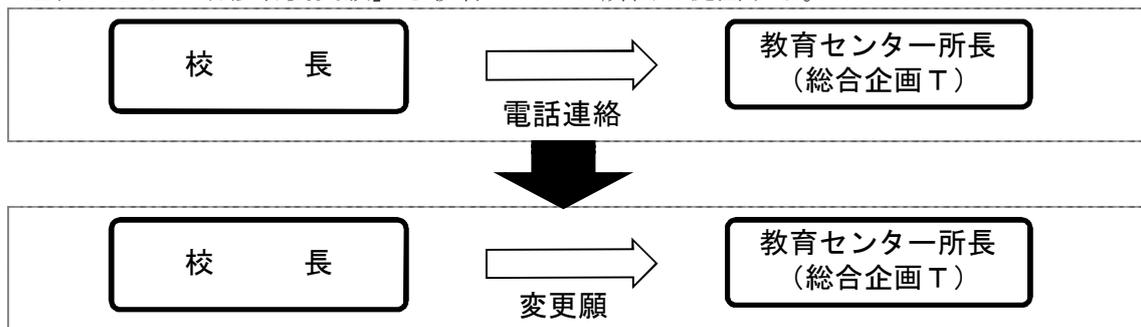
- ① 校長は市町村教育委員会教育長（担当者）に連絡する。市町村教育委員会教育長（担当者）は教育事務所長（担当者）に電話連絡し相談する。
- ② 教育事務所長（担当者）は、教育センター所長（総合企画チーム主任）と協議し、その可否を市町村教育委員会教育長（担当者）経由で校長に連絡する。
- ③ 研修者の変更が認められた場合は、校長（園長）は速やかに（様式2-1）、（様式3-1）、（様式4-1）により市町村教育委員会教育長経由で「研修者変更願」を教育事務所長に提出する。

※ 中核市（福島、郡山、いわき）の学校については、各市所管教育センター長あてに「研修者変更願」を提出し、各市所管教育センター長は写しを県教育センター所長（総合企画チーム）あてに提出する。

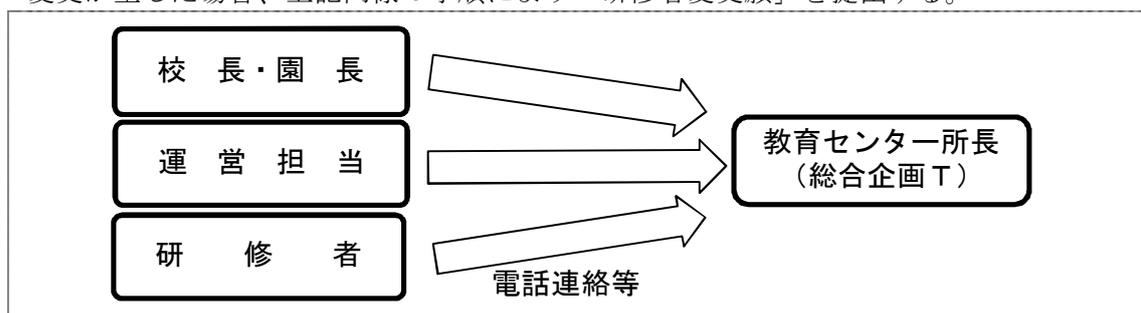


<県立学校の場合>

- ① 校長は、研修対象者の変更がある場合は、教育センター所長（総合企画チーム主任）へ電話連絡し、相談する。
- ② 研修者の変更が認められた場合は、校長は速やかに（様式2-2）、（様式3-2）、（様式4-2）により「研修者変更願」を教育センター所長に提出する。



※ 研修中に緊急を要する事態が生じた場合は、次のように連絡・相談する。研修者に関する変更が生じた場合、上記同様の手順により「研修者変更願」を提出する。



#### (4) 研修における宿泊について

教育センターでの宿泊研修は、教育センター宿泊施設での宿泊が原則である。やむを得ない事情により宿泊できない場合は、「教育センターにおける宿泊研修要項（H24.8.1 福島県教育委員会）」（P10）により対処する。事務手続きについては、「(3) 研修者に関する変更について（P12）」による。

##### ① 宿泊棟・食堂の利用について

###### ア 宿泊棟の利用

	時 間	留 意 事 項
入 室	12:00 より	○研修1日目の12時以降、入室することができる。 ○鍵は受付の際に室長に配付する。 ○貴重品の管理は各自で行う。
入 浴	17:30 から 21:30	○指定時間内に入浴をすませる。 ○浴室の定員は、大浴場20名、小浴場8名程度
外出及び門限	17:15 から 22:00	○外出する際は、「宿泊者外出記録用紙」に各自記入する。 ○門限の22時を厳守し、「宿泊者外出記録用紙」に帰所時刻を各自記入する。
点 呼	22:00	○室長は、宿泊棟警備室に人員を報告する。 ○22時以降は静かにして、お互い迷惑をかけないようにする。
清 掃	8:00 から 8:15	○宿泊室内は、清潔に保ち、整理整頓に努める。 ○ゴミ等は、ロビーの所定の場所に捨てる。
退 室	8:30 まで	○ベッドパッド・毛布は、入室時と同じように、所定の方法で折りたたんで置く。シーツは2階ロビーのかごに、たたまずに返却する。 ○室長は、鍵を1階警備室窓口のボックスに返却する。
電 話 等		○緊急で電話を使用する場合は、警備室内の電話を使用する。 ○外部からの電話は、22時以降は緊急の場合以外は取り次がない。
自動販売機		○1階ロビーの自動販売機（飲み物）を利用することができる。 （22時以降は使用を控える）
そ の 他		○研修初日に、シーツ（2枚）・枕カバー（1枚）を、2階ロビーで受け取る。 ○冷暖房が必要なときは、部屋ごとに温度管理に留意して利用する。 ○敷地内での飲酒及び喫煙は禁止とする。 ○宿泊棟の備品については、Webサイトに掲載した「宿泊棟生活のしおり」を参照のこと。

###### イ 食堂の利用

昼 食	12:00～13:00	○指定時間内に食事を済ませる。
夕 食	17:30～18:30	○研修講座によっては、昼食時間が異なることがある。
朝 食	7:30～8:15	

##### ② 宿泊棟生活について

ア 外出する際は、次のことを厳守する。

- (ア) 外出する際は、室長及び同室者に連絡し、宿泊棟警備室の「宿泊者外出記録用紙」に各自記入する（記録用紙は宿泊棟警備室の窓口に設置）。
- (イ) 帰所の際は、門限の22時を厳守し、帰所時刻を「宿泊者外出記録用紙」に各自記入する。外出中に特別な事情が生じた場合には、必ず教育センターまで電話連絡をする。
- (ウ) 点呼時には人員を正しく申告する

イ 22時以降は静かにして、お互い迷惑をかけないようにする。

##### ③ 宿泊研修者の夕食の取扱いについて

宿泊研修では、教育センターでの食事を原則とするが、やむを得ず夕食を必要としない場合は、次の手続きを行う。

ア 各研修講座要項に記載されている期日までに、教育センターWebサイトの「各種様式」内のフォーム「**宿泊研修における夕食の変更届**」より手続きする（期限厳守）。その後、必ず「受信確認メール」を確認する。受信確認メールが届かない場合は、手続きが終了していない可能性があるため、当センター総合企画チームに電話で連絡する

(TEL 024-553-3193)。

- イ 前記アの期日後の変更はできない。
- ウ 食費は、前記アで手続きした夕食分を除いて該当講座の2日目の朝に納入する。  
(食事単価：朝食350円、昼食420円、夕食550円)

#### (5) 講座聴講について

研修講座の大学教授等による講義・講話等を希望により聴講することができる。

- ① 講座聴講の案内  
年度当初に「講座聴講のご案内」を、教育センターWebサイトに掲載する。
- ② 講座聴講の参加対象者
  - ア 県内の国公立・私立学校教職員（講師等を含む）
  - イ 県内の国公立・私立幼稚園等教職員（保育所職員を含む）
  - ウ 教職員を目指している大学生・大学院生
  - エ 一般市民（「聴講講座のご案内（一般向け）」による）
- ③ 講座聴講の手続き  
「聴講申込書」（様式5-1）を教育センターWebサイトからダウンロードして作成し、教育センターにEmailまたはFAXで送付する。  
Email：[center-choukou-gr@fcs.ed.jp](mailto:center-choukou-gr@fcs.ed.jp) FAX：024-554-1588  
その後、教育センターより「受信確認メール」を返信する。これによって、聴講申込が完了するので必ず確認する。
- ④ 旅費等  
講座聴講に係る旅費等については、聴講者の負担とする。

#### (6) 講師派遣について

教育センターでは、カリキュラムセンター（P51参照）を設置し、出前講座の受講希望及び講座以外の内容での要請に応じて、県内の学校や各種教育団体に講師（指導主事）派遣を行っている。

- ① 出前講座の案内  
年度当初に出前講座一覧を、教育センターWebサイトに掲載する。
- ② 講師派遣対象  
派遣対象は、原則教職員の研修である。
  - ア 小・中学校、県立学校の校内研修
  - イ 県教育委員会、市町村教育委員会主催の研修会等
  - ウ 小・中・高等学校の各種教育研究団体及び教育関係機関・団体の研究会等
- ③ 講師派遣の手続き
  - ア 講師派遣を希望する学校等は、派遣希望日の3ヶ月前になったら、派遣希望の教職員研修について教育センターWebサイトのカリキュラムセンター教職員研修講師派遣内のフォーム「講師派遣問い合わせ」より手続きする。その後、必ず「受信確認メール」を確認する。受信確認メールが届かない場合は、問い合わせ手続きが終了していない可能性があるため、当センター総合企画チームに電話で連絡する（TEL 024-553-3193）。
  - イ 総合企画チームにおいて、派遣の可否を確認後、講師派遣を希望する学校等に折り返し連絡をする。
  - ウ 派遣可能であることを確認した後、「講師派遣申請書」（様式7-1）を教育センターWebサイトからダウンロードして作成し、郵送で提出する。
- ④ 講師派遣期間  
5月から2月までとする。
- ⑤ 旅費等
  - ア 各学校からの講師派遣依頼は年間2回までとする。旅費については、1回目は教育センターが負担し、2回目は申請者が負担する。
  - イ 各種教育団体からの講師派遣依頼に係る旅費については、申請者負担とする。

### Ⅲ 受講者決定通知

#### 1 「基本研修・職能研修講座の受講者について(通知)」(例)

##### 【県立学校】

文書記号番号  
令和2年4月24日

〇〇〇〇〇〇学校長 様

教育センター所長

#### 令和2年度福島県教育センター基本研修・職能研修講座の受講者について(通知)

このことについて、下記のとおり決定しましたので、該当者に通知願います。  
また、各研修の開催案内は送付いたしませんので、当センターWebサイト内「教育センター」における研修」「研修講座要項」「研修の手引」等により、日程、研修内容等を確認いただくようお願いさせていただきます。

記

研修分類名	研修名・研修講座名	氏名	教科	備考
基本研修	高等学校初任者研修	〇〇〇〇	数学	-
基本研修	高等学校2年次教員フォローアップ研修	〇〇〇〇	英語	-
基本研修	高等学校経験者研修Ⅱ	〇〇〇〇	理科	-
基本研修	養護教諭経験者研修Ⅱ	〇〇〇〇	-	-
職能研修	養護教諭専門研修講座	〇〇〇〇	-	-

(担当 総合企画チーム 電話024-553-3193)

##### 【市町村立幼稚園等、小・中学校】

(各教育委員会教育長経由)

文書記号番号  
令和2年4月24日

〇〇〇立〇〇〇〇学校長 様

福島県教育センター所長  
(公印省略)

#### 令和2年度福島県教育センター基本研修・職能研修講座の受講者について(通知)

このことについて、下記のとおり決定しましたので、該当者に通知願います。  
また、各研修の開催案内は送付いたしませんので、当センターWebサイト内「教育センター」における研修」「研修講座要項」「研修の手引」等により、日程、研修内容等を確認いただくようお願いさせていただきます。

記

研修分類名	研修名・研修講座名	氏名	教科Ⅰ	教科Ⅱ	備考
基本研修	小学校初任者研修	〇〇〇〇	理科	体育	1班
基本研修	小学校2年次教員フォローアップ研修	〇〇〇〇	国語	-	2班
基本研修	小学校経験者研修Ⅱ	〇〇〇〇	算数	図画工作	-
基本研修	中学校初任者研修	〇〇〇〇	理科	-	1班
職能研修	複式指導(国語・算数)担当教員研修	〇〇〇〇	算数	-	-
職能研修	免許外教科担任教員研修	〇〇〇〇	家庭	-	1班

(担当 総合企画チーム 電話024-553-3193)

2 「専門研修講座の受講者について(通知)」(例)

【県立学校】

文 書 記 号 番 号  
令和 2 年 5 月 2 9 日

〇〇〇〇〇〇学校長 様

教育センター所長

令和 2 年度福島県教育センター専門研修講座の受講者について (通知)

このことについて、下記のとおり決定しましたので、該当者に通知願います。  
また、研修講座要項は、当センターWebサイト内「教育センターにおける研修」の「専門研修」から確認いただくようお願いさせていただきます。

記

研修分類名	講座番号	研修講座名	氏 名
専門研修	A17	総合的な言語活動で伸ばすスピーキング・ライティング指導講座	〇〇 〇〇
専門研修	B03	予防・開発的教育相談講座	〇〇 〇〇

(担当 総合企画チーム 電話024-553-3193)

【市町村立幼稚園等、小・中学校】

(各教育委員会教育長経由)

文 書 記 号 番 号  
令和 2 年 5 月 2 9 日

〇〇〇立〇〇〇〇学校長 様

福島県教育センター所長  
( 公 印 省 略 )

令和 2 年度福島県教育センター専門研修講座の受講者について (通知)

このことについて、下記のとおり決定しましたので、該当者に通知願います。  
また、研修講座要項は、当センターWebサイト内「教育センターにおける研修」の「専門研修」から確認いただくようお願いさせていただきます。

記

研修分類名	講座番号	研修講座名	氏 名
専門研修	A01	主体的・対話的で深い学びを実現する小学校国語科指導力向上講座	〇〇 〇〇
専門研修	D01	「考え、議論する」小学校道徳科授業づくり講座	〇〇 〇〇

(担当 総合企画チーム 電話024-553-3193)





(様式4-1) 【専門研修 研修者変更願 市町村立学校用 市町村教育委員会教育長経由】

文 書 記 号 番 号  
令和 年 月 日

〇〇教育事務所長

〇〇〇〇立〇〇〇〇学校長 〇 〇 〇 〇  公印

**専門研修の研修者に関する変更について**

福島県教育センターにおける研修者として、さきに決定のあった本校職員について、下記のとおり変更願います。

記

講座名			
講座期間	令和 年 月 日	～	月 日
研修者氏名		職員番号	
変更内容	欠 席 ・ 遅 刻 ・ 早 退 ・ 班 の 交 換 ・ 通 所 取 り 消 し ・ 追 加 ・ 交 換 ・ そ の 他 ( )		
変更事由			

【研修者を交換する場合】

交換研修者氏名	職員番号
---------	------

- <留意事項>
- 変更しなければならぬ事由が生じた時点で、校長は市町村教育委員会教育長(担当者)に電話連絡する。市町村教育委員会教育長(担当者)は教育事務所長(担当者)に電話連絡し相談する。教育事務所長(担当者)は、教育センター所長(総合企画チーム主任)に連絡し相談する。委員会教育長(担当者)経由で校長に連絡する。研修者変更願を市町村教育委員会教育長経由で教育事務所長に提出し、教育事務所長は「研修者変更願」の写しを教育センター所長に提出する。なお、校長が直接教育センターへ電話等で相談しても、変更の可否については回答しない。
  - 変更内容は欄内のいづれかを○で囲む。なお、「取り消し」については、休職等により受講対象となる要件を満たさなくなった場合に記入する。また、診断書等は不要とする。
  - 中核市については各市所管の教育センター長あてとする。
  - 用紙はA4判とする。

(様式4-2) 【専門研修 県立学校用】

文 書 記 号 番 号  
令和 年 月 日

教育センター所長

〇〇〇〇学校長

**専門研修の研修者に関する変更について**

福島県教育センターにおける研修者として、さきに決定のあった本校職員について、下記のとおり変更願います。

記

講座名			
講座期間	令和 年 月 日	～	月 日
研修者氏名		職員番号	
変更内容	欠 席 ・ 遅 刻 ・ 早 退 ・ 班 の 交 換 ・ 通 所 取 り 消 し ・ 追 加 ・ そ の 他 ( )		
変更事由			

【研修者を交換する場合】

交換研修者氏名	職員番号
---------	------

- <留意事項>
- 変更しなければならぬ事由が生じた時点で、校長は教育センター所長(総合企画チーム主任)に連絡し、その可否について協議する。協議の結果、研修者の変更が認められた場合は後日変更届を教育センター所長に提出する。
  - 変更内容は欄内のいづれかを○で囲む。なお、「取り消し」については、休職等により受講対象となる要件を満たさなくなった場合に記入する。また、診断書等は不要とする。
  - 用紙はA4判とする。

(様式5-1)

### 4 「聴講申込書」(教職員用)

※

令和 年 月 日

聴講申込書

福島県教育センター所長 (所属) 公印  
(所属長職氏名印)

下記のとおり聴講を申し込みます。

聴講者氏名		TEL	
		FAX	
聴講番号	題名	(講師名: )	
聴講日時	令和 年 月 日 ( )	～	：

**【備考】**

- 聴講は教職員等に限ります(教職員を目指している大学生・大学院生は聴講可能)。
- 申込期限は、開催日の1週間前です(期日厳守)。申込にあたっては、この申込書[要公印]の写し(PDF等)を作成し、電子メールで送付してください。受信後、受付確認メールを返信します。なお、定員超過等により聴講不可となる場合は、電話等で連絡します。

**提出先** center-choukou-gr@fcs.ed.jp

- 当センターからは旅費を支給しません。また、聴講に際して当センターでの食事や宿泊はできません。

【福島県教育センター TEL 024-553-3193 FAX 024-554-1588】

(様式7-1)

### 5 「講師派遣申請書」

文書記号番号 令和 年 月 日

福島県教育センター所長 様

講師派遣申請書

下記により貴所所属担当職員を派遣していただきたく申請します。

申請者(団体名・学校名)	
責任者名(所属長名)	
開催行事名	
日時	令和 年 月 日 ( ) ～ ：
会場	
対象者・人数	
依頼内容	
依頼する指導主事等	○出前講座番号 ( )
備考	

※ 複数の指導主事派遣を希望する場合は、上記の「依頼する指導主事等」にその旨を記載すること。  
※ 旅費が申請者負担となる場合は、備考欄にその旨を記載すること。

## V 研修講座一覧

### 1 基本研修講座

- ◎外部講師については、変更になる場合があります。
- ◎中核市については、各講座の研修講座要項をご確認ください。

講座番号	講座名 対象【人数】	期日・日数・班【教科】 場所	主 要 内 容 ◎ 外 部 講 師 に よ る 講 義 等	
初任者・新規採用者研修	K01	幼稚園等新規採用教員研修 宿泊研修 ・幼稚園等新規採用教員[85名] ※私立幼稚園等を含む	8月19日(水)～8月21日(金) [2泊3日] 教育センター	◎幼児教育における現状と課題(講義) ◎乳幼児理解にはじまる保育①②(講義・協議) ◎保育と記録(講義・協議) ◎からだを使って遊ぼう—体づくりの運動—(実技研修) ◎音楽をバックに楽しむ(講義・演習) 講師:福島学院大学 教授 佐藤 敦子 ◎保育と遊び(講義・演習) ◎相談面接の基礎と保護者とのよりよい関係づくり(講義・演習) ◎障がいのある子どもたちとのかわり(講義・協議) ◎幼児の発達と人間関係(講義) 講師:福島大学 教授 原野 明子
	K02	幼稚園等新規採用教員研修 地区別研修① ・幼稚園等新規採用教員[85名] ※私立幼稚園等を含む	各地区 [1日] 県北・相双 5/8(金) 教育センター 県中・県南 5/8(金) 郡山市労働福祉会館 会津・南会津 5/8(金) ユースピアゆがわ	◎幼稚園等教諭としての心構え(サービス・勤務)(講義) ◎新規採用幼稚園等教諭に期待すること(講話) ◎乳幼児の発達支援における現状と課題(講義) ◎研修計画についての確認(説明)
	K03	幼稚園等新規採用教員研修 地区別研修② ・幼稚園等新規採用教員[85名] ※私立幼稚園等を含む	各地区 [1日] 県北・相双 7/21(火) 教育センター 県中・県南 7/22(水) 白河合同庁舎 会津・南会津 7/28(火) ユースピアゆがわ	◎幼稚園教育要領(認定こども園教育・保育要領)の理解(講義) ◎家庭や地域社会と連携した子育て支援(講話) ◎遊びと音楽表現(実技研修) ◎学級経営の充実に向けて—幼稚園等教諭2年目を迎えて(実践発表・協議)
	K04	幼稚園等新規採用教員研修 地区別研修③ ・幼稚園等新規採用教員[85名] ※私立幼稚園等を含む	各地区 [1日] 県北・相双 12/24(木) 教育センター 県中・県南 12/24(木) 郡山合同庁舎 会津・南会津 12/24(木) 湯川村公民館	◎教育課程と指導計画(講義・協議) ◎言葉と遊び(実技研修) ◎幼児期における食育(講義)
	K05	小・中学校初任者研修 新規採用養護教諭研修 新規採用学校栄養職員研修 宿泊研修A ・小学校初任者[300名] ・中学校初任者[150名] ・新規採用小・中・高・特支養護教諭[30名] ・新規採用学校栄養職員[10名] 計490名	第1班[2泊3日](小・中) 5月19日(火)～5月21日(木) 第2班[2泊3日](小・養・栄) 6月1日(月)～6月3日(水) 国立磐梯青少年交流の家	◎福島県の目指す教育(講義) ◎2か月間の教職経験を振り返って(協議) ◎自然体験活動(演習) ◎情報教育(講義) ◎学習指導の基礎・基本(講義) ◎教職員のサービスと勤務(講義) ◎男女共同参画と学校教育(講義) ◎特別支援教育について(講話) ◎放射線・防災教育(講話) ◎生徒指導の基礎・基本(講義・演習) ◎健康教育(講話) ◎社会人とマナー(講話) 講師:福島大学 教授 五十嵐 敦 ◎教職員のサービス倫理意識の向上について(講話)
	K06	小・中学校初任者研修 新規採用養護教諭研修(小・中) 新規採用学校栄養職員研修 地区別研修A 一般研修 ・小学校初任者[300名] ・中学校初任者[150名] ・新規採用小・中・高・特支養護教諭[30名] ・新規採用学校栄養職員[10名] 計490名	各地区 [1日] 県北 4/17(金) 伊達福祉センター 県中 4/23(木) 郡山合同庁舎 県南 4/23(木) 白河合同庁舎 会津 4/23(木) 道の駅あいづ 湯川・会津坂下 南会津 4/23(木) 御蔵入交流館 相双 4/23(木) 未定	◎新規採用者・初任者に期待すること(講話) ◎域内の学校教育指導の重点(講話) ◎学年・学級経営の在り方(講話・演習) ◎新規採用者・初任者研修の進め方(講話)
	K07	小・中学校初任者研修 地区別研修A 授業研修① ・小学校初任者[300名] ・中学校初任者[150名] 計480名	各地区 [1日] 県北 6/18(木) 教育センター 県中 6/15(月) 郡山合同庁舎 県南 6/16(火) 白河合同庁舎 会津・南会津 6/19(金) 道の駅あいづ 湯川・会津坂下 相双 6/17(水) 未定	◎道徳教育の要点と指導の実際(講義・演習) ◎特別活動の要点と指導の実際(講義・演習) ◎「総合的な学習の時間」の要点(講話)
	K08	小・中学校初任者研修 地区別研修A 授業研修② ・小学校初任者[300名] ・中学校初任者[150名] 計480名	各地区 [1日] 県北 11/17(火) 五百川小学校 県中 11/11(水) 未定 県南 [小] 11/5(木) 未定 [中] 11/10(火) 未定 会津・南会津 11/13(金) 高田小学校 相双 10/29(木) 未定	◎授業参観の視点とワークショップ型事後研究会の方法(講義) ◎研究授業の視点(説明) ◎研究授業(参観) ◎ワークショップ型事後研究会の実際(協議) ◎授業改善の視点～P D C Aサイクルを生かして～(講話)

講座番号	講座名 対象 [人数]	期日・日数・班 [教科] 場 所	主 要 内 容 ◎ 外 部 講 師 に よ る 講 義 等
初任者・新規採用者研修	K09 小・中学校初任者研修 地区別研修A へき地校研修 ・小学校初任者〔300名〕 ・中学校初任者〔150名〕 計480名	各地区 〔1日〕 県北 9/15 (火) 新殿小学校 県中 9/15 (火) 未定 県南 9/15 (火) 小:山岡小学校、中:五箇中学校 会津・南会津 9/16 (水) 小:北塩原村立さくら小学校 中:北塩原村立第一中学校 相双 9/15 (火) 小:未定 中:未定	◎へき地校における学校教育上の諸問題 (講話) ◎授業参観・施設設備見学 (参観) ◎小規模学校における指導上の諸問題 (協議) ◎個に応じた指導の工夫 (講義・演習)
	K10 小・中学校初任者研修 高等学校初任者研修 公立学校実習助手初任者研修 新規採用養護教諭研修(小・中・高) 地区別研修A カウンセリング研修 ・小学校初任者〔300名〕 ・中学校初任者〔150名〕 ・高等学校初任者〔44名〕 ・公立学校実習助手初任者〔11名〕 ・新規採用小・中・高養護教諭〔35名〕 計423名	各地区 〔2日〕 県北 8/17 (月) , 18 (火) 教育センター 県中・県南 7/30 (木) , 31 (金) 環境創造センター 会津・南会津 8/19 (水) , 20 (木) 下郷ふれあいセンター 相双 8/6 (木) , 7 (金) 未定 いわき (高・実助・高養のみ) 8/25 (火) , 26 (水) いわき合同庁舎	◎構成的グループエンカウンター (講義・演習) ◎児童生徒理解のための自己への気付き (講義・演習) ◎相談面接の基礎 (講義・演習) ◎事例研究演習 (講義・演習)
	K11 小・中学校初任者研修 新規採用養護教諭研修(小・中) 新規採用学校栄養職員研修 地区別研修A 特別支援学校研修 ・小学校初任者〔300名〕 ・中学校初任者〔150名〕 ・新規採用小・中養護教諭〔30名〕 ・新規採用学校栄養職員〔10名〕 計490名	各地区 〔1日〕 県北 10/20 (火) 福島大学附属特別支援学校 県中 10/8 (木) 郡山支援学校 県南 10/28 (水) 西郷支援学校 会津・南会津 10/30 (金) 会津支援学校 相双 10/14 (水) 相馬支援学校	◎授業参観・参加実習 ◎特別支援教育について (講話) ◎参観授業及び特別支援学校における教育活動について (研究協議)
	K12 小学校初任者研修 ・小学校初任者〔300名〕	第1班〔2泊3日〕 7月27日(月)～7月29日(水) 第2班〔2泊3日〕 9月2日(水)～9月4日(金) 第3班〔2泊3日〕 9月23日(水)～9月25日(金) 教育センター	◎教員自身のメンタルヘルス (講義) ◎道徳科の授業 (講義) ◎外国語活動・外国語の授業 (講義) ◎教科指導研修 (2教科) ◎これからの教員に望むこと (講話)
	K13 中学校初任者研修 ・中学校初任者〔150名〕	第1班〔2泊3日〕 8月3日(月)～8月5日(水) 第2班〔2泊3日〕 9月9日(水)～9月11日(金) 教育センター	◎教員自身のメンタルヘルス (講義) ◎道徳科の授業 (講義) ◎教科指導研修 ◎これからの教員に望むこと (講話)
	K14 高等学校初任者研修 公立学校実習助手初任者研修 基本研修 ・高等学校初任者〔44名〕 ・公立学校実習助手初任者〔11名〕 計55名	4月2日(木)～4月3日(金) 〔1泊2日〕 教育センター	◎初任者研修について (講義) ◎給与制度の概要 (講義) ◎生徒指導の在り方 (講義・演習) ◎効果的な学習指導の進め方 (講義) ◎実習助手としての心構え (講義) ◎教科指導研修 ◎社会人とマナー (講義・演習) 講師:福島大学 教授 五十嵐 敦 ◎教職員の服務倫理意識の向上について (講話)
	K15 高等学校初任者研修 一次研修 ・高等学校初任者〔44名〕	4月20日(月)～4月22日(水) 〔2泊3日〕 教育センター	◎新任教員に望むこと (講話) ◎本県の教育施策 (講義) ◎放射線・防災教育 (講義) ◎教科指導研修 ◎本県における特別支援教育について (講義) ◎男女共同参画と学校教育 (講義) ◎本県の健康教育の課題 (講義) ◎情報教育 (講義) ◎生徒理解と生徒指導 (講義・演習)
	K16 高等学校初任者研修 二次研修 ・高等学校初任者〔44名〕	2月8日(月)～2月10日(水) 〔2泊3日〕 教育センター	◎教科指導研修 ◎学級経営の基礎・基本 (講義・演習) ◎高等学校におけるキャリア教育 (講義) ◎教員自身のメンタルヘルス (講義) ◎教職員の服務と勤務 (講義) ◎これからの教員に望むこと (講話)
K17 高等学校初任者研修 教科別研修 ・高等学校初任者〔44名〕	第1班〔3日〕 8月31日(月)～9月2日(水) 第2班〔3日〕 9月14日(月)～9月16日(水) 各会場校	◎教科指導研修	

講座 番号	講座名 対象 [人数]	期日・日数・班 [教科] 場所	主 内 容 容 ◎ 外 部 講 師 に よ る 講 義 等
初 任 者 ・ 新 規 採 用 者 研 修	K18 高等学校初任者研修 地区別研修A 公立学校実習助手初任者研修 地区別研修 新規採用養護教諭研修(高) 地区別研修A 一般研修Ⅰ ・高等学校初任者[44名] ・公立学校実習助手初任者[11名] ・新規採用高等学校養護教諭[5名] 計60名	各地区 [1日] 県北 4/16 (木) 教育センター 県中・県南 4/16 (木) 安積高校 会津・南会津 4/16 (木) 会津高校 いわき 4/16 (木) 磐城高校 相双 4/16 (木) 原町高校	◎新任教員に期待すること(講話) ◎教職員の服務と勤務(講義・演習) ◎情報モラル教育(講義) ◎生徒指導と学習指導(講義・協議) ◎高等学校における特別支援教育(講義) ※いわきのみ
	K19 高等学校初任者研修 地区別研修A 公立学校実習助手初任者研修 地区別研修 新規採用養護教諭研修(高) 地区別研修A 一般研修Ⅱ ・高等学校初任者[44名] ・公立学校実習助手初任者[11名] ・新規採用高等学校養護教諭[5名] 計60名	各地区 [1日] 県北 10/7 (水) 教育センター 県中・県南 10/7 (水) 未定 会津・南会津 10/7 (水) 会津自然の家 いわき 10/7 (水) 磐城農業高校 相双 10/7 (水) 未定	◎学校事故防止と危機管理(講話) ◎地域の就職状況(講話) ◎生徒指導と進路指導(講義・協議)
	K20 高等学校初任者研修 地区別研修A 公立学校実習助手初任者研修 地区別研修 特別活動等研修 高等校経験者研修Ⅱ 選択研修 養護教諭経験者研修Ⅱ(高) 選択研修 地区別特別活動研修 ・高等学校初任者[44名] ・公立学校実習助手初任者[11名] ・教職10年経験者高等学校(選択) ・教職10年経験者高等学校養護教諭(選択)	各地区 [1日] 県北 9/9 (水) 福島商業高校 県中・県南 9/9 (水) 白河実業高校 会津・南会津 9/9 (水) 田島高校 いわき 9/9 (水) 遠野高校 相双 9/9 (水) 未定	◎特別活動の意義(講話) ◎ホームルーム活動参観(授業参観) ◎特色ある特別活動事例(講義・協議) ◎ホームルーム活動の進め方(講義・演習)
	K21 高等学校初任者研修 地区別研修A 公立学校実習助手初任者研修 地区別研修 安全教育研修 ・高等学校初任者[44名] ・公立学校実習助手初任者[11名] 計55名	各地区 [1日] 県北 5/20 (水) 教育センター 県中・県南 5/20 (水) 白河旭高校 会津・南会津 5/20 (水) 会津学鳳高校 いわき 5/20 (水) いわき合同庁舎 相双 5/20 (水) 道の駅南相馬、南相馬消防署	◎少年犯罪の現状について(講義) 講師:警察署職員 ◎薬物乱用防止(講義) 講師:警察署職員又は保健所職員 ◎救急救命法(講義・演習) 講師:消防署職員
	K22 高等学校初任者研修 地区別研修A 公立学校実習助手初任者研修 地区別研修 新規採用養護教諭研修(高) 地区別研修A 社会奉仕等体験研修	各地区 [1日] 各事務所の計画	◎体験活動の意義と進め方
	K23 新規採用養護教諭研修 宿泊研修B(専門研修) ・新規採用小・中・高・特支養護教諭[30名]	11月4日(水)~11月6日(金) [2泊3日] 教育センター	◎健康教育の現状と課題(講義) ◎教員自身のメンタルヘルス(講義) ◎学校安全と災害共済給付制度について(講義) ◎学校における救急処置(講義・演習) ◎健康課題への対応と養護教諭の役割(研究協議) ◎特別支援教育の現状と指導上の課題(講義) ◎児童生徒のメンタルヘルスの理解と対応(講義・協議) ◎保健教育の進め方(講義・演習) ◎新規採用養護教諭に期待すること(講話) ◎児童生徒の疾病理解(講義) 講師:福島県保健衛生協会 会長 鈴木 順造
	K24 新規採用養護教諭研修(小・中) 地区別研修A 学校訪問研修① ・新規採用小・中養護教諭[30名]	各地区(小学校訪問) [1日] 県北 6/17 (水) 未定 県中・県南 6/17 (水) 未定 会津・南会津 6/17 (水) 熊倉小学校 相双 6/19 (金) 未定	◎学校経営の概要(講話) ◎保健室経営の実際(講義) ◎給食指導参観 ◎健康教育の授業(授業参観) ◎授業参観事後研究および職務上の諸問題(協議)
	K25 新規採用養護教諭研修(小・中) 地区別研修A 学校訪問研修② ・新規採用小・中養護教諭[30名]	各地区(中学校訪問) [1日] 県北 10/1 (木) 未定 県中・県南 10/15 (木) 未定 会津・南会津 10/14 (水) 喜多方市立第二中学校 相双 10/9 (金) 未定	◎学校経営の概要(講話) ◎保健室経営の実際(講義) ◎給食指導参観 ◎健康教育の授業(授業参観) ◎授業参観事後研究および職務上の諸問題(協議)
	K26 新規採用養護教諭研修(高) 地区別研修A 高等学校2年次教員フォローアップ研修 公立学校実習助手フォローアップ研修 企業等体験研修	各地区 [1日]養護教諭 [2日]フォローアップ 各事務所の計画	◎勤労にかかわる体験活動
	K27 新規採用学校栄養職員研修 宿泊研修B 専門研修 ・新規採用学校栄養職員[10名]	9月1日(火)~9月3日(木) [2泊3日] 教育センター	◎学校栄養職員に期待すること(講話) ◎教職員自身のメンタルヘルス(講義) ◎学校給食の栄養管理・衛生管理(講義・演習) ◎拭き取り検査から見た学校給食の衛生管理(講義・演習) ◎食に関する指導の実際(講義・演習) ◎学校給食の管理と給食指導の実際(講義・協議) ◎ICTの活用(講義・演習) ◎食育の推進に向けて(講義) 講師:福島大学 教授 中村 恵子

講座番号	講座名 対象 [人数]	期日・日数・班 [教科] 場所	主 内 容 等 ◎ 外 部 講 師 に よ る 講 義
初任者・新規採用者研修	K28 新規採用学校栄養職員研修 地区別研修A 単独校実地研修 ・新規採用学校栄養職員〔10名〕	各地区 〔1日〕 ----- 東北 7/1 (水) 未定 ----- 県中・県南 7/2 (木) 未定 ----- 会津・南会津 7/2 (木) 未定 ----- 相双 7/1 (水) 未定	◎学校経営の概要(講話) ◎給食管理業務と献立作成の実際(講義) ◎給食指導の実際(給食指導参観) ◎授業における食に関する指導(授業参観) ◎学校給食の充実に向けて(講義・協議)
	K29 新規採用学校栄養職員研修 地区別研修A 共同調理場実地研修 ・新規採用学校栄養職員〔10名〕	各地区 〔1日〕 ----- 東北 11/10 (火) 未定 ----- 県中・県南 11/16 (月) 未定 ----- 会津・南会津 11/12 (木) 未定 ----- 相双 11/10 (火) 未定	◎共同調理場経営の概要(講話) ◎給食管理業務の実際(講義・参観) ◎給食指導の実際(給食指導参観) ◎授業における食に関する指導(授業参観) ◎学校給食の充実に向けて(講義・協議)
2 年次教員フォローアップ研修	K30 小学校2年次教員フォローアップ研修 教科等指導研修 ・小学校〔121名〕	第1班〔1日〕 6月26日(金) ----- 第2班〔1日〕 7月31日(金) ----- 教育センター	◎教科指導研修
	K31 中学校2年次教員フォローアップ研修 教科等指導研修 ・中学校〔56名〕	6月29日(月) 〔1日〕 ----- 教育センター	◎教科指導研修
	K32 高等学校2年次教員フォローアップ研修 教科等指導研修 ・高等学校〔41名〕	7月6日(月) 〔1日〕 ----- 教育センター	◎教科指導研修
経験者研修 I	K33 小学校経験者研修 I 教科指導研修 教職5年経験者 ・小学校〔90名〕	6月10日(水)～6月12日(金) 〔2泊3日〕 ----- 教育センター	◎教職員の服務と勤務(講義) ◎放射線・防災教育(講義) ◎教員自身のメンタルヘルス(講義) ◎教科指導研修(2教科) ◎外国語活動・外国語の授業(講義) ◎人権教育(講義) ◎健康教育(講義) ◎5年経験教員に期待すること(講話)
	K34 中学校経験者研修 I 教科指導研修 教職5年経験者 ・中学校〔70名〕 ・特別支援学校〔10名〕 計80名	第1班〔2泊3日〕 9月30日(水)～10月2日(金) ----- 第2班〔2泊3日〕 10月7日(水)～10月9日(金) ----- 教育センター	◎教職員の服務と勤務(講義) ◎教員自身のメンタルヘルス(講義) ◎教科指導研修 ◎人権教育(講義) ◎健康教育(講義) ◎5年経験教員に期待すること(講話)
	K35 高等学校経験者研修 I 教科指導研修 教職5年経験者 ・高等学校〔80名〕 ・特別支援学校〔3名〕 計83名	第1班〔2泊3日〕 9月30日(水)～10月2日(金) ----- 第2班〔2泊3日〕 10月7日(水)～10月9日(金) ----- 教育センター	◎教職員の服務と勤務(講義) ◎教員自身のメンタルヘルス(講義) ◎教科指導研修 ◎予防・開発的生徒指導・教育相談の一例(講義・演習) ◎5年経験教員に期待すること(講話)
	K36 養護教諭経験者研修 I 宿泊研修 養護教諭職5年経験者 ・小・中・高・特支養護教諭〔20名〕	9月16日(水)～9月18日(金) 〔2泊3日〕 ----- 教育センター	◎5年経験養護教諭に期待すること(講話) ◎教員自身のメンタルヘルス(講義) ◎健康相談の実際(講義・演習) 講師:FR教育臨床研究所 所長 花輪 敏男 ◎魅力ある保健体育の授業づくりのポイント(保健)(講義・演習) 講師:埼玉大学 准教授 七木田 文彦 ◎学校における救急処置(講義・演習) ◎学校保健組織活動(講義・演習) ◎特別支援教育の現状と指導上の課題(講義) ◎情報モラル教育(講義) ◎教職員の服務倫理意識の向上について(講話)
	K37 学校栄養職員経験者研修 I 宿泊研修	令和2年度は実施しない	
経験者研修 II	K38 幼稚園等経験者研修 II 保育専門研修 ・幼稚園等教諭10年経験者〔25名〕	5月26日(火)～5月27日(水) 〔1泊2日〕 ----- 教育センター	◎幼児教育の現状と課題(講義・協議) ◎保育に生きる記録のあり方(講義) 講師:和田実学園 学事顧問 近喰 晴子 ◎特別支援教育について(講義) ◎教員自身のメンタルヘルス(講義) ◎保育案作成と指導の実際(演習・協議) ◎教職員の服務倫理意識の向上について(講話)
	K39 ※K42 幼稚園等経験者研修 II 共通研修 ・幼稚園等教諭10年経験者〔25名〕 ※午前中は、小・中・養護と合同で実施	各地区 〔1日〕 ----- 東北 4/28 (火) 教育センター ----- 県中 4/28 (火) 郡山合同庁舎 ----- 県南 4/28 (火) 白河合同庁舎 ----- 会津・南会津 4/28 (火) 道の駅あいづ 湯川・会津坂下 ----- 相双 4/28 (火) 未定	◎10年経験の教職員に望むこと(講話) ◎服務と勤務及び倫理(講義) ◎域内における教育の現状と課題(講義) ◎特色ある教育課程の編成・実施・評価(講義) ◎幼稚園等の管理と安全対策(講義) ◎経験者研修 II の意義と概要(説明)

講座 番号	講座名 対象 [人数]	期日・日数・班 [教科] 場 所	主 要 内 容 ◎ 外 部 講 師 に よ る 講 義 等	
経験者研修Ⅱ	K40	小学校経験者研修Ⅱ 教科指導研修 教職10年経験者 ・小学校[50名]	6月15日(月)～6月17日(水) [2泊3日] 教育センター	○放射線・防災教育(講義) ○外国語活動・外国語の授業(講義) ○教科指導研修(2教科) ○学校組織マネジメント(講義) ○教職員の服務倫理意識の向上について(講話)
	K41	中学校経験者研修Ⅱ 教科指導研修 教職10年経験者 ・中学校[40名]	9月16日(水)～9月18日(金) [2泊3日] 教育センター	○教科指導研修 ○学校組織マネジメント(講義) ○教職員の服務倫理意識の向上について(講話)
	K42 ※K39 と同日	小・中学校経験者研修Ⅱ 養護教諭経験者研修Ⅱ(小・中) 共通研修 教職10年経験者 ・小学校[50名]、中学校[40名] ・小・中学校養護教諭[20名] 計110名	各地区 [1日] 県北 4/28(火) 教育センター 県中 4/28(火) 郡山合同庁舎 県南 4/28(火) 白河合同庁舎 会津・南会津 4/28(火) 道の駅あいづ 湯川・会津坂下 相双 4/28(火) 未定	○10年経験の教職員に望むこと(講話) ○服務と勤務及び倫理(講義) ○域内における教育の現状と課題(講義) ○自校の現状と経験者研修Ⅱ教員としての課題(協議) Ⅰ 生徒指導 Ⅱ 学習指導 ○経験者研修Ⅱの意義と概要(説明) ○今後の研修の進め方(質疑・応答)
	K43	小・中学校経験者研修Ⅱ 生徒指導研修 教職10年経験者 ・小学校[50名] ・中学校[40名] 計90名	各地区 [1日] 県北 11/6(金) 教育センター 県中・県南 10/28(水) 白河合同庁舎 会津・南会津 11/13(金) 道の駅あいづ 湯川・会津坂下 相双 11/6(金) 未定	○本県生徒指導の現状と課題(講義) ○教員自身のメンタルヘルス(講義) ○情報モラル教育(講義) ○課題解決に向けた具体的な指導援助(研究協議)
	K44	小・中学校経験者研修Ⅱ 養護教諭経験者研修Ⅱ(小・中) 道徳、特別活動コース別選択研修 教職10年経験者 ・小学校(選択) ・中学校(選択) ・小・中学校養護教諭(選択) ・学校栄養職員(選択)	各地区 [1日] 県北 7/27(月) 教育センター 県中・県南 8/19(水) 郡山合同庁舎 会津・南会津 8/6(木) 道の駅あいづ 湯川・会津坂下 相双 8/18(火) 未定	【道徳】 ○道徳科の意義(講義) ○道徳科の指導上の諸問題(協議) ○資料分析(講義・演習) 【特別活動】 ○特別活動の意義(講義) ○学級活動の指導上の諸問題(協議) ○学級活動における「望ましい人間関係の形成・確立」(講義・演習)
	K45	高等学校経験者研修Ⅱ 養護教諭経験者研修Ⅱ(県立) 共通研修 教職10年経験者 ・高等学校教諭[105名] ・県立学校養護教諭[5名] 計110名	4月17日(金) [1日] 教育センター	◎教職員の服務と勤務(講義) ○経験者研修Ⅱの概要～研修計画と研修の進め方～(講義) ○教科指導研修及び養護教諭専門研修 ○経験者研修Ⅱの意義(講話) ○10年経験教員に期待すること(講話)
	K46	高等学校経験者研修Ⅱ 教科指導研修Ⅰ・生徒指導研修 教職10年経験者 ・高等学校[105名]	6月30日(火)～7月1日(水) [1泊2日] 教育センター	◎本県生徒指導の現状と課題(講義) ○教員自身のメンタルヘルス(講義) ◎これからの生徒指導(講義) 講師:会津大学 教授 苅間澤 勇人 ○情報モラル教育(講義・演習) ○教科指導研修
	K47	高等学校経験者研修Ⅱ 教科指導研修Ⅱ 教職10年経験者 ・高等学校[105名]	2月2日(火)～2月3日(水) [1泊2日] 教育センター	○教科指導研修 ○学校組織マネジメント(講義)
	(K20)	高等学校経験者研修Ⅱ 選択研修 養護教諭経験者研修Ⅱ(高県立) 選択研修 地区別特別活動研修 教職10年経験者 ・高等学校(選択) ・県立学校養護教諭(選択) ※高等学校初任者研修 地区別研修A 特別活動等研修と同日	各地区 [1日] 県北 9/9(水) 福島商業高校 県中・県南 9/9(水) 白河実業高校 会津・南会津 9/9(水) 田島高校 いわき 9/9(水) 遠野高校 相双 9/9(水) 未定	◎特別活動の意義(講話) ◎ホームルーム活動参観(授業参観) ◎特色ある特別活動事例(講義・協議) ○ホームルーム活動の進め方(講義・演習)
	K48	養護教諭経験者研修Ⅱ 宿泊研修 養護教諭職10年経験者 ・小・中・高・特支養護教諭[20名]	8月3日(月)～8月5日(水) [2泊3日] 教育センター	◎健康教育の課題と養護教諭の役割(講義) ◎特別支援教育について(講義) ○児童生徒のメンタルヘルスの理解と対応(講義・協議) ◎児童生徒の疾病理解(講義) 講師:福島県保健衛生協会 会長 鈴木 順造 ○教員自身のメンタルヘルス(講義) ○学校組織マネジメント(講義・演習) ◎調査研究の進め方・まとめ方(講義・演習) 講師:東京学芸大学 教授 朝倉 隆司 ○情報モラル教育(講義) ○学校における救急処置と危機管理(講義・演習) ○自校の健康教育の課題解決に向けて(研究協議) ○教職員の服務倫理意識の向上について(講話)

講座番号	講座名 対象 [人数]	期日・日数・班 [教科] 場 所	○ 主 内 容 等 ◎ 外 部 講 師 に よ る 講 義 等
経験者研修Ⅱ	K49 学校栄養職員経験者研修Ⅱ 宿泊研修	7月29日(水)～7月31日(金) [2泊3日]	◎ 教員自身のメンタルヘルス(講義) ◎ ICTの活用(講義・演習) ◎ 学校における食育の推進(講義) 講師：新潟医療福祉大学 教授 森泉 哲也 ◎ 10年目学校栄養職員に期待すること(講話) ◎ 食に関する指導の実際(講義・演習) ◎ 学校給食の衛生管理と栄養管理(講義・協議) ◎ 学校・家庭・地域と連携した食育の進め方(実践報告) ◎ 教職員の服務倫理意識の向上について(講話)
	学校栄養職10年経験者[2名]		
経験者研修Ⅲ	K50 市町村立小・中・特別支援学校 経験者研修Ⅲ	10月21日(水)～10月23日(金) [2泊3日]	◎ 本県の学校教育の現状と課題(講義) ◎ 学校の管理運営について(講義) ◎ 特別支援教育の在り方(講義) ◎ 児童・生徒理解と生徒指導(講義・演習) ◎ 学校運営上の課題(管理的分野)(研究協議) ◎ 学校運営上の課題(指導的分野)(研究協議) ◎ 学校組織マネジメント(講義・演習) ◎ 教職員のやる気を引き出すコーチング(講義・演習) ◎ 教職員の服務倫理意識の向上について(講話)
	・小学校 ・中学校 計36名	教育センター	
K51 県立学校経験者研修Ⅲ	・高等学校 ・特別支援学校 計70名	10月28日(水)～10月30日(金) [2泊3日]	◎ 本県の学校教育の現状と課題(講義) ◎ 教育課程の編成について(講義) ◎ 学校の管理運営について(講義) ◎ 生徒理解と生徒指導(講義・演習) ◎ 指導関係(研究協議) ◎ 管理関係(研究協議) ◎ キャリア教育(講義) ◎ 学校組織マネジメントとミドルリーダーの役割(講義・演習) ◎ 教職員のやる気を引き出すコーチング(講義・演習) ◎ 教職員の服務倫理意識の向上について(講話)

※ K50、K51の研修講座の講座要項等については、Email等により当該校へ送付する。

## 2 職能研修講座

◎外部講師については、変更になる場合があります。

講座番号	講座名 対象 [人数]	期日・日数・班 [教科] 場 所	主 要 内 容 ◎ 外 部 講 師 に よ る 講 義 等
職能研修Ⅰ	S01 市町村立小・中・特別支援学校 新任校長研修会 新任校長 ・小学校 ・中学校 ・市立特別支援学校 計140名 【中核市を含む】	小学校 [1泊2日] 4月27日(月)～4月28日(火) 中・特別支援学校 [1泊2日] 5月7日(木)～5月8日(金) 教育センター	◎校長役割と責務(講話) ◎学校評価と人事評価制度(講義) ◎特別支援教育(講義) ◎学校管理・運営上の課題(指導的・管理的分野)(演習・協議) ◎教職員の服務倫理意識の向上等について(講話) ◎教育の情報化(講義) ◎新任校長に期待すること(講話)
	S02 県立学校新任校長研修会 新任校長 ・高等学校 ・特別支援学校 計20名	5月7日(木)～5月8日(金) [1泊2日] 教育センター	◎校長の役割と責務(講話) ◎学校評価と人事評価制度(講義) ◎校長としての取組(指導的分野)(研究協議) ◎教職員の服務倫理意識の向上等について(講話) ◎学校管理・運営上の諸問題(管理的分野)(研究協議) ◎教育の情報化(講義) ◎人事異動・教員の資質向上(講話)
	S03 市町村立小・中・特別支援学校 新任副校長研修会 新任副校長 ・小学校 ・中学校 ・市立特別支援学校 計5名 【中核市を含む】	5月12日(火) [1日] 教育センター	◎副校長の役割と責務(講話) ◎新任副校長に期待すること(講話) ◎学校管理・運営上の課題(指導的・管理的分野)(演習・協議) ◎教職員の服務倫理意識の向上等について(講話)
	S04 県立学校新任副校長研修会 新任副校長 ・高等学校 ・特別支援学校 計5名	5月12日(火) [1日] 教育センター	◎副校長に期待されていること(講話) ◎副校長の職務について(講話) ◎副校長としての取組(指導的分野)(研究協議) ◎学校管理・運営上の諸問題(管理的分野)(研究協議) ◎教職員の服務倫理意識の向上等について(講話)
	S05 市町村立小・中・特別支援学校 新任教頭研修会 新任教頭 ・小学校 ・中学校 ・市立特別支援学校 計170名 【中核市を含む】	小学校 [1泊2日] 4月30日(木)～5月1日(金) 中・特別支援学校 [1泊2日] 5月14日(木)～5月15日(金) 教育センター	◎教頭の職務について(講話) ◎教頭に期待すること(講話) ◎学校評価と人事評価制度(講義) ◎学校運営上の課題(管理的・指導的分野)(演習・協議) ◎教育の情報化(講義) ◎特別支援教育(講義) ◎学校組織マネジメント(講義) ◎教職員の服務倫理意識の向上等について(講話)
	S06 県立学校新任教頭研修会 新任教頭 ・高等学校 ・特別支援学校 計20名	5月14日(木)～5月15日(金) [1泊2日] 教育センター	◎教頭に期待すること(講話) ◎教頭の職務について(講話) ◎学校評価と人事評価制度(講義) ◎学校運営上の課題(指導的・管理的分野)(演習・協議) ◎教育の情報化(講義) ◎学校組織マネジメント(講義) ◎教職員の服務倫理意識の向上等について(講話)
	S07 新任主幹教諭研修会 新任主幹教諭 ・小学校 ・中学校 ・県立学校 計20名 【中核市を含む】	5月13日(水) [1日] 教育センター	◎主幹教諭の職務について(講話) ◎学校組織マネジメント(講義) ◎主幹教諭の実務と校務運営上の課題への対応について(講義・演習・協議) ◎教職員の服務倫理意識の向上について(講話)
職能研修Ⅱ	S08 複式指導(国語・算数)担当教員研修会 小学校複式指導担当教員 (複式指導を担当する教諭で、複式学級担当教員研修会及び本研修会未受講者) ・小学校[30名] ※特別支援学級担任は除く 【郡山市、福島市を含む】	5月28日(木)～5月29日(金) [1泊2日] 教育センター	◎複式学級における指導上の諸問題とその解決に向けて(講義・協議) ◎複式学級における指導の実際(実践報告) ◎複式学級における基本的な学習指導の進め方(講義) ◎複式学級における授業構想の相互交流(協議) ◎複式指導における指導案の作成(国語・算数)(協議・演習・協議) ◎複式指導担当者に期待すること(講話)
	S09 免許外教科担任教員研修会 中学校免許外教科担任教員 音楽・美術・家庭(18名限定) 技術(15名限定)、保健体育(限定なし) <研修該当者> ○教科を免許外で担当している教員で、本研修会未受講者 ○平成22年度以前の本研修会受講者 ○校内に同教科の免許を有している教員がない場合 ※受け入れ可能人数の都合上、研修を受講できない場合があります。 ・中学校[120名] 【中核市を含む】	第1班 ① 【美術・技術・家庭】 5月11日(月)～5月13日(水) [2泊3日] 第1班 ② 【保体】 5月11日(月)～5月12日(火) [1泊2日] 第2班 【音楽・美術・技術・家庭】 5月20日(水)～5月22日(金) [2泊3日] 教育センター	【音楽】 ◎音楽科の学習指導の在り方(講義) ◎表現・鑑賞の指導と学習評価(講義・演習) 【美術】 ◎美術科の学習指導の在り方(講義) ◎表現・鑑賞の指導と学習評価(講義・演習) 【保健体育】 ◎保健体育科の学習指導の在り方(講義) ◎体育分野の教材研究と指導法(講義・演習) ◎保健分野の教材研究と指導法(講義・演習) 【技術・家庭】 ◎技術・家庭科(技術分野)の学習指導の在り方(講義) ◎技術・家庭科(家庭分野)の学習指導の在り方(講義) ◎題材研究と指導法(講義・実習)

講座 番号	講座名 対象 [人数]	期日・日数・班 [教科] 場 所	○ 主 要 内 容 ◎ 外 部 講 師 による 講 義 等
職 能 研 修 Ⅱ	S10 校長のためのマネジメント講座 ・小学校 ・中学校 ・市立特別支援学校 ・県立学校 計70名 【中核市を含む】	6月8日(月)～6月9日(火) [1泊2日] 教育センター	◎カリキュラム・マネジメント(講義) 講師:明星大学 教授 吉富 芳正 ◎学校組織マネジメント(講義・演習) 講師:高崎市教育委員会 教育長 飯野 眞幸 ◎学校事故防止・教職員不祥事の根絶(講義) ◎学校問題の未然防止・早期対応(講義・演習) ◎共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育(講義) ◎地域と共にある学校(講義)
	S11 教頭のためのマネジメント講座 ・小学校 ・中学校 ・市立特別支援学校 ・県立学校 計80名 【中核市を含む】	8月31日(月)～9月1日(火) [1泊2日] 教育センター	◎カリキュラム・マネジメント(講義) 講師:横浜国立大学 名誉教授 高木 展郎 ◎学校組織マネジメント(講義・演習) 講師:モチベーションファクター(株) 代表取締役 山口 博 ◎学校経営とマネジメント(講義) ◎学校問題の未然防止・早期対応(講義・演習) ◎共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育(講義) ◎地域と共にある学校(講義)
	S12 小・中学校におけるキャリア教育実践講座 ・小学校 ・中学校 計36名 【福島市を含む】	9月7日(月)～9月8日(火) [1泊2日] 教育センター	◎キャリア教育の充実に向けて(講義) ◎実社会から見た学校教育への期待(講義) 講師:福島公共職業安定所 厚生労働事務官 幕田 恵 ◎基礎的・汎用的能力を育む教育課程(講義) ◎キャリア発達理論とキャリアカウンセリング(講義・演習) 講師:福島大学 教授 五十嵐 敦 ○自校における実践的・体験的学習活動の取組①(協議) ○教科横断的な視点を取り入れた年間指導計画の作成(講義) ○自校における実践的・体験的学習活動の取組②(協議・演習)
	S13 養護教諭専門研修講座 養護教諭 15年経験者 計20名 【中核市を含む】	9月23日(水)～9月25日(金) [2泊3日] 教育センター	◎健康教育の現状と課題(講義) ○学校保健組織マネジメント(講義・演習) ◎健康課題を解決するための取組(講義・協議) ○情報モラル教育(講義) ◎現代的健康課題における対応(講義) ○保護者とのよりよい関係づくり～面談・電話対応を中心に～(講義・演習) ○児童生徒のメンタルヘルスの理解と対応(講義・演習) ◎保健教育の進め方(講義) 講師:横浜国立大学 教授 物部 博文 ○教職員の服務倫理意識の向上について(講話)
	S14 学校栄養職員専門研修講座 学校栄養職員 15年経験者	令和2年度は実施しない	

※ 新任教務主任研修会(小・中・高・特支)については、関係教育事務所または各中核市教育委員会の計画による。

※ S01～S07、S10～S12の研修講座の講座要項等については、Email等により当該校へ送付する。

### 3 専門研修講座

#### ◎講座番号の先頭の記号について

※専門研修講座は講座内容によって、下のA～Dの4つの系統にわかれています。

A…教科教育系講座      B…教育相談系講座      C…情報教育系講座      D…教科外教育系講座

#### ◎選択講座制について

※専門研修講座は選択制です。充実した講座を準備していますので積極的に受講してください。

#### ◎「経験者研修Ⅱ」対応講座について

※一覧表右に「経験Ⅱ」と記してある欄があります。○が付いている講座は、経験者研修Ⅱにおける校外研修の選択研修として選択できる講座です。

種類	講座番号	講座名 備考(期日・日数、会場、人数、他)	目的・内容 (◎外部講師による講義等)	経験Ⅱ
小学校 国語講座	A01	<b>主体的・対話的で深い学びを実現する 小学校国語科指導力向上講座</b> 10月12日(月)～10月13日(火) [1泊2日] 教育センター 24名(小24名、特支)	◇「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習過程を質的に改善することを目指し、資質・能力の育成に向けた授業の在り方について研修を行い、その指導力を高める。 ○「主体的・対話的で深い学び」の視点について(講義) ○「主体的・対話的で深い学び」の視点から改善を図る単元・授業構想「深い学び」につなげる授業の在り方について(協議・演習) ○資質・能力の育成に向けた単元構想、授業構想の在り方について(協議) ◎「主体的・対話的で深い学び」を国語科の授業でどう実現するか(講義) 講師：東京学芸大学 准教授 中村 和弘	○
中学校 国語講座	A02	<b>主体的・対話的で深い学びを実現する 中学校国語科指導力向上講座</b> 10月19日(月)～10月20日(火) [1泊2日] 教育センター 20名(中20名、特支)	◇「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習過程を質的に改善することを目指し、資質・能力の育成に向けた授業の在り方について研修を行い、その指導力を高める。 ○「主体的・対話的で深い学び」の視点について(講義) ○「主体的・対話的で深い学び」の視点から改善を図る単元・授業構想「深い学び」につなげる授業の在り方について(協議・演習) ○資質・能力の育成に向けた単元構想、授業構想の在り方について(協議) ◎資質・能力を育む深い学びのある国語科授業づくり(講義) 講師：福島大学 教授 佐藤 佐敏	○
中学校・ 国語・ 高 等 学 校 講 座	A03	<b>授業改善に結び付く国語科の 評価問題作成・研究講座</b> 8月6日(木)～8月7日(金) [1泊2日] 教育センター 12名(中高12名、特支)	◇評価問題の作成を通して作問力の向上を図るとともに、中高の交流を深めながら検討を重ねることにより、今、求められる評価と評価問題の在り方について考察を深め、授業の改善を図る。 ○適切な評価と評価問題の在り方について(講義) ○文学的文章の指導と評価問題の作成(演習・協議) ○文学的文章教材の指導について(講義)	○
中学校・ 国語・ 講 座 高 等 学 校	A04	<b>主体的・対話的で深い学びの実現に 向けた国語科の授業改善講座</b> 10月5日(月)～10月6日(火) [1泊2日] 教育センター 12名(中高12名、特支)	◇ワークショップを通して、「主体的・対話的で深い学び」の実感的な理解を深めるとともに、PISA型読解力の視点による「発問の精選」や「言語活動の充実」を軸とした授業づくりの研修を行い、実践的な指導力の向上を図る。 ○「主体的・対話的で深い学び」の理解(講義・演習) ◎PISA型読解力の視点による授業づくり(ワークショップ) 講師：明治学院大学 教授 中村 敦雄 ◎国語科指導の在り方について(講義) 講師：明治学院大学 教授 中村 敦雄 ○「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業づくり(演習・協議)	○
小・中 学 校 社 会 講 座	A05	<b>社会的な見方・考え方を働かせた 社会科の授業づくり講座</b> 7月21日(火)～7月22日(水) [1泊2日] 教育センター 16名(小中16名、特支)	◇社会の変化に主体的に対応していく力を育むため、社会的な見方や考え方を働かせる授業づくりについて研修を行い、指導力の向上を図る。 ○基礎的資料を活用し、思考力・判断力・表現力を育む授業づくり(講義・演習) ○資料活用を図った「問い」を引き出す授業づくりⅠ(協議・演習) ◎社会的な見方・考え方を働かせた社会科の授業づくり(講義) 講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 小倉 勝登 ○資料活用を図った「問い」を引き出す授業づくりⅡ(協議・演習) ○資料活用を図った「問い」を引き出す授業づくりⅢ(協議・演習)	○
社会・中 学 校 地 理 ・ 高 等 学 校 地 理 ・ 公 民 講 座	A06	<b>社会科・地理歴史科・公民科の 評価問題作成・研究講座</b> 8月20日(木)～8月21日(金) [1泊2日] 教育センター 12名(中高12名、特支)	◇思考力・判断力・表現力を高める評価問題の作成と評価の在り方について研修を行い、教科の専門性を高めるとともに、授業力の向上を図る。 ○思考力・判断力・表現力を高める学習指導(講義・協議) ◎評価問題の工夫(協議・演習) ○指導と評価の一体化(協議)	○
社会・中 学 校 地 理 ・ 高 等 学 校 地 理 ・ 公 民 講 座	A07	<b>社会科・地理歴史科・公民科における 主権者教育の授業づくり講座</b> 9月7日(月) [1日] 教育センター 12名(中高12名、特支)	◇主権者としての意識を生徒に育ませることの意義と指導法について、授業づくりなどを通して研修を行い、授業力の向上を図る。 ◎主権者意識を育成する学習指導の意義と指導法(講義) 講師：一般社団法人 未来の準備室 理事長 青砥 和希 ◎主権者意識を育成する授業づくり(協議・演習)	○

種類	講座 番号	講座名 備考(期日・日数、会場、人数、他)	目的・内容 (◎外部講師による講義等)	経験Ⅱ
小学校 算数講座	A08	<b>算数科「数学的活動の充実を図る授業づくり」講座</b> 8月6日(木)～8月7日(金) [1泊2日] 教育センター 12名(小12名、特支)	◇ 教材の本質をとらえるとともに、数学的活動を充実させ、児童の数学的に考える資質・能力を育む授業づくりの研修を行い、その識見と指導力の向上を図る。 ○ 数学的活動を充実させる授業づくり(演習・協議) ○ 数学的に考える資質・能力を育む問題と指導の在り方(演習・協議) ◎ 数学的な見方・考え方を働かせる算数科の授業(講義) 講師：筑波大学附属小学校 教諭 盛山 隆雄	○
中学校 数学講座	A09	<b>中学校数学科「数学的に考える資質・能力を育む授業づくり」講座</b> 6月23日(火) [1日] 教育センター 12名(中12名、特支)	◇ 教材の本質をとらえ、生徒の数学的に考える資質・能力を育む授業づくりの研修を行い、その識見と指導力の向上を図る。 ○ 数学の本質に迫る授業づくり(演習・協議) ○ 数学的に考える資質・能力を育む問題と指導の在り方(演習・協議)	○
高等学校 数学講座	A10	<b>課題の本質から統合的・発展的に考察する数学科問題作成・研究講座</b> 7月30日(木)～7月31日(金) [1泊2日] 教育センター 12名(高12名、特支)	◇ 大学入試問題研究を通して、問題の本質を見極め、思考力・表現力を高める問題作成と統合的・発展的に考察する力を育む授業づくりの研修を行い、数学の専門性と指導力の向上を図る。 ○ 大学入試問題研究や問題作成による教材の本質の究明(演習・協議) ○ 生徒の思考力・表現力を高めるための問題作成(演習・協議) ○ 統合的・発展的に考察する力を育む授業づくり(講義・演習) ○ 模擬授業(演習・協議)	○
中学校・ 高等学校 数学講座	A11	<b>統計的探究プロセスを充実させる中学校・高等学校数学科授業づくり講座</b> 10月5日(月)～10月6日(火) [1泊2日] 教育センター 12名(中高12名、特支)	◇ 中学校・高等学校の系統性を重視し、統計的探究プロセスを充実させる授業づくりと、ICTを活用した指導法の研修を行い、その識見と指導力の向上を図る。 ○ 小中高における統計分野の学習内容について(講義) ○ 統計的探究プロセス(PPDACサイクル)を重視した授業構想の在り方について(講義・演習・協議) ○ ICTを活用した授業づくり(講義・演習・協議) ○ 模擬授業(演習・協議) ◎ 統計的探究プロセスを充実させる指導法について(講義) 講師：茨城大学大学院 教授 小口 祐一	○
小学校 理科講座	A12	<b>理科の見方・考え方やプログラミングを生かした小学校理科講座</b> 10月12日(月)～10月13日(火) [1泊2日] 教育センター 12名(小12名、特支)	◇ 今日的課題を踏まえ、児童が理科の見方・考え方を働かせる授業の在り方と、プログラミング教育についての研修を行い、その識見と指導力の向上を図る。 ○ 「理科の見方・考え方」の視点を生かした授業づくり(講義) ◎ 「小学校理科教育とプログラミング教育」(講義) ○ 理科におけるプログラミング(演習) ○ 授業構想(協議・演習)	○
中学校 理科講座	A13	<b>主体的・対話的で深い学びの実現に向けた中学校理科講座</b> 8月18日(火)～8月19日(水) [1泊2日] 教育センター 15名(中15名、特支)	◇ 今日的課題を踏まえ、生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりと、それに伴う観察、実験についての研修を行い、その識見と指導力の向上を図る。 ○ 教科指導上の課題について(協議) ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(講義) ○ 地学領域における効果的な観察、実験の仕方(講義・演習) ◎ 主体的・対話的で深い学びに根ざした理科教育の在り方(講義) 講師：福島大学 准教授 平中 宏典 ○ 地学領域での主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業構想(協議・演習)	○

種類	講座番号	講座名 備考(期日・日数、会場、人数、他)	目的 内容 (◎外部講師による講義等)	経験Ⅱ
高等学校理科講座	A14	<b>高等学校理科 観察・実験・授業づくり講座</b> 10月19日(月)～10月20日(火) [1泊2日] 教育センター 15名(高15名、特支)	◇「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた物理、化学、生物、地学に関する観察・実験の指導法や授業づくりの研修を行い、自然の事象・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する指導力を高める。 ○「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた物理、化学、生物、地学に関する観察・実験の指導法(講義・演習) ○「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業づくり(演習・協議) ◎身近な生物の観察・実験(講義・演習) 講師：福島県立医科大学 教授 松岡 有樹 ◎月探査機SELENEによる月の謎の解明(講義) 講師：宇宙航空研究開発機構 助教 春山 純一	○
	A15	<b>実習助手のための理科観察・実験講座</b> 7月13日(月)～7月14日(火) [1泊2日] 教育センター 10名(高実10名、特支) ※理科実習助手対象	◇理科に関する観察・実験などの研修を行い、観察・実験の技能を向上させるとともに科学的な思考力を高める指導法を習得する。 ○基本的な実験機器・器具の使用法 ○物理、化学、生物、地学それぞれの科目に関する基本的な観察・実験及び指導法(講義・実習)	×
中学校・高等学校 英語講座	A16	<b>発問で授業を活性化させる 英語指導講座</b> 10月5日(月)～10月6日(火) [1泊2日] 教育センター 16名(中高16名、特支)	◇教科書本文の指導における深い学びを促す手だての在り方について理解を深め、授業の改善を図る。 ○教科書本文の指導上の成果と課題(協議) ○深い学びを促す教科書本文の指導の在り方(講義・演習) ○深い学びを促すための授業構想(演習・協議) ◎発問を通して理解・思考・表現を促す教科書本文の指導法(講義・演習) 講師：山梨大学 教授 田中 武夫	○
英語 高等学校	A17	<b>統合的な言語活動で伸ばす スピーキング・ライティング指導講座</b> 8月6日(木)～8月7日(金) [1泊2日] 教育センター 15名(高15名、特支)	◇複数の技能を統合した言語活動を通して、スピーキング力とライティング力を伸ばす指導と、それらの評価の在り方について理解を深める。 ○統合的な言語活動を用いて英語力を伸ばす授業(講義・演習) ○話す力・書く力を伸ばす授業構想(演習・協議) ◎高等学校英語科におけるパフォーマンス評価(講義・演習) 講師：玉川大学 准教授 工藤 洋路	○
中学校 英語講座	A18	<b>教科書を活用して表現力を高める 英語指導講座</b> 7月30日(木)～7月31日(金) [1泊2日] 教育センター 15名(中15名、特支)	◇表現力の向上につなげる言語活動の在り方について理解を深め、授業の改善を図る。 ○表現力指導の成果と課題(協議) ○表現力を高める言語活動の在り方(講義・演習) ○表現力を高めるための授業構想(演習・協議) ◎教科書を活用した表現力の指導法(講義・演習) 講師：上智大学 教授 和泉 伸一	○
小・中・高等学校 音楽講座	A19	<b>民族楽器による 魅力ある授業づくり講座</b> 10月19日(月)～10月20日(火) [1泊2日] 教育センター 12名(小中高12名、特支)	◇諸外国の音楽の指導について、民族楽器を用いた器楽分野を中心とした諸外国の音楽の楽しさを味わわせることができる魅力ある授業づくりに向けて、講義・実技演習等を行い、その識見と指導力を高める。 ○諸外国の音楽における音楽科学習の意義(講義・協議) ○アフリカの楽器による授業づくり(講義・演習) ◎民族楽器による授業づくり(講義・演習) 講師：打楽器奏者 伊藤すみれ ◎ドラムサークルで授業づくり(講義・演習) 講師：ドラムサークルファシリテーター協会 理事 三原 典子	○
	A20	<b>日本伝統音楽のよさを味わう 授業づくり講座</b> 10月30日(金) [1日] 教育センター 10名(小中高10名、特支)	◇我が国や郷土の伝統音楽の「よさ」を味わうことができる授業づくりに向けて、講義・実技演習等を行い、その識見と実践的な指導力を高める。 ○日本伝統音楽の授業づくり(講義・協議) ◎日本伝統音楽の指導(講義) 講師：新潟大学 教授 伊野 義博	○

種類	講座 番号	講座名 備考(期日・日数、会場、人数、他)	目的 内容 (◎外部講師による講義等)	経験Ⅱ
小・中・音楽講座 高等学校	A21	<b>児童・生徒の心をつかむ合唱指導講座</b> 6月25日(木) [1日] 教育センター 20名(小中高20名、特支)	◇ 授業において歌唱し、合唱する楽しさを味わわせることができる合唱指導の在り方について、実技演習を通して学び、その識見と指導力を高める。  ○ 合唱指導の工夫・改善(協議・演習) ◎ 歌う楽しさを育む発声・合唱指導(講義・演習) 講師：中学校音楽授業研究会 会長 田中 安茂	○
小学校 図画工作講座	A22	<b>楽しみながら力を伸ばす図画工作科指導法講座</b> 6月24日(水) [1日] 教育センター 10名(小10名、特支)	◇ 創造することの楽しさを感じさせ、思考・判断し、表現するなどの造形的な創造活動の基礎的な能力を育てる図画工作の指導の在り方について、授業実践事例の演習を通して学び、その識見と指導力を高める。  ○ 造形遊びの事例と指導の在り方(演習・協議) ○ 表したいことを絵や立体、工作に表す活動の事例と指導の在り方(演習・協議)  ○ 発想や構想の能力の指導の在り方(演習・協議) ○ 創造的な技能の指導の在り方(演習・協議) ○ 鑑賞の能力の指導の在り方(演習・協議) ○ [共通事項]を踏まえた指導の在り方(演習・協議) ◎ 図画工作科の授業の実践(講義・演習) 講師：東京学芸大学 准教授 笠原 広一	○
小・中・高等学校 美術講座	A23	<b>創造性を育む図画工作・美術の鑑賞指導法講座</b> 〔前期〕7月31日(金) [1日] 福島県立美術館 〔後期〕10月30日(金) [1日] 教育センター 12名(小中高12名、特支) ※前後期とも必ず参加すること	◇ 小学校図画工作・中学校・高等学校美術の鑑賞の指導について、講義、演習を通して美術教育における鑑賞の意義などを理解しながら、鑑賞の指導の在り方や教材研究の仕方を学び、その識見と指導力を高める。  ○ 鑑賞教育の意義と課題(演習・協議) ○ 鑑賞の指導の在り方(演習・協議) ○ 鑑賞の評価の在り方(演習・協議) ◎ 鑑賞用教材を使ったプログラム(講義・演習) 講師：福島県立美術館 主任学芸員 大北 孝 学芸員 白木 ゆう美  ◎ 学校と美術館の連携活動について(講義) 講師：福島県立美術館 主任学芸員 大北 孝  ◎ 鑑賞教育のこれから(講義) 講師：東京芸術大学 特任准教授 伊藤 達矢	○
中学校 美術・高等学校	A24	<b>創造性を育む美術の表現指導法講座</b> 10月19日(月)～10月20日(火) [1泊2日] 教育センター 12名(中高12名、特支)	◇ 中学校・高等学校の表現の指導について、制作演習や講義、鑑賞演習を通して、美術教育における表現の意義などを理解しながら、表現の指導の在り方や教材研究の仕方を学び、その識見と指導力を高める。  ○ 表現の指導の在り方(演習・協議) ○ 表現の多様性(演習・協議) ○ 表現の評価の在り方(演習・協議) ◎ 染と織の技法(講義・演習) 講師：東京芸術大学 准教授 橋本 圭也	○
小・中・高等学校 体育講座	A26	<b>運動が苦手な児童生徒のための体育指導講座</b> 8月18日(火)～8月19日(水) [1泊2日] 教育センター 20名(小中高20名、特支)	◇ 運動が苦手な児童生徒の理解と、指導に必要な基礎的・基本的な知識と技能を習得し、実践的な指導力を高める。  ○ 指導上の課題と改善に向けて(協議) ○ 運動が苦手な児童生徒に対する指導の在り方(講義) ○ 運動が苦手な児童生徒に対する授業づくり(協議・演習) ◎ 多様な支援を必要とする児童生徒への体育指導(講義) 講師：東海大学 教授 内田 匡輔	○
	A27	<b>ICTを活用した保健体育科の授業づくり講座</b> 11月4日(水)～11月5日(木) [1泊2日] 教育センター 20名(小中高20名、特支)	◇ 保健体育の授業におけるICTの効果的な活用法やタブレットPC等の活用の仕方を学び、授業力の向上を図る。 ○ 保健体育科における効果的な活用事例とICT活用のポイント(講義・協議) ○ 保健体育科におけるICTの効果的な活用事例(講義・演習) ○ 保健の授業におけるICTの活用法(演習・協議) ○ 体育実技におけるタブレットPCの活用法(演習)	○

種類	講座 番号	講座名 備考(期日・日数、会場、人数、他)	目的 内容 (外部講師による講義等)	経験Ⅱ
中学校技術講座	A28	<b>実践力を高める技術科講座 (情報・エネルギー変換編)</b> 7月30日(木)～7月31日(金) [1泊2日] 教育センター 10名(中10名、特支) ※中学校免許外教科担任受講可	◇ 中学校技術科の教科指導に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得し、実践的な指導力の向上を図る。 ○ エネルギー変換の技術・情報の技術に関する指導上の諸問題(講義・協議) ○ 技術分野におけるプログラミングに関する指導の在り方(講義) ○ ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング(講義・演習) ◎ 新学習指導要領を踏まえた授業の作り方(講義・協議) ◎ エネルギー変換の技術・情報の技術における授業例(講義・演習) ◎ これまでの学習を踏まえた統合的な問題(講義・演習) 講師: 東京学芸大学 教授 大谷 忠 ○ 3年間を見通した年間指導計画(講義)	○
		<b>家庭科を担当する先生のための 基礎・基本講座(調理編)</b> 8月7日(金) [1日] 教育センター 10名(小中10名、特支) ※令和2年度中学校免許外教科担任受講可	◇ 小・中学校家庭科の実技指導に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得し、実践的な指導力の向上を図る。 ○ 食生活の学習に関する指導上の諸問題(講義・協議) ○ 研修の振り返り(協議) ◎ 主体的・対話的で深い学びの実現を図る家庭科教育(講義) ◎ 伝統的な日常食の調理(実習) 講師: 横浜国立大学 教授 杉山久仁子	○
中学校・高等学校家庭講座	A30	<b>実践的・体験的な学習の充実を図るための家庭科講座(消費生活・環境編)</b> 11月12日(木)～11月13日(金) [1泊2日] 教育センター 10名(中高10名、特支)	◇ 中学校・高等学校家庭科における専門的な知識や技術、指導法の工夫について研修を行い、実践的な指導力の向上を図る。 ○ 家庭科教育の学習指導と指導上の諸問題(講義・協議) ○ 消費生活・環境分野の授業づくり(協議・演習) ○ 研修の振り返り(協議) ◎ 衣生活領域における環境教育(講義) ◎ 環境負荷を考える衣生活分野の学習(講義・演習) 講師: 茨城大学 教授 木村美智子 ◎ 主体的・対話的で深い学びの実現を図る消費者教育(講義) 講師: 東京家政学院大学 教授 上村 協子	○
教育相談講座	B01	<b>学校教育相談基礎講座</b> 7月2日(木)～7月3日(金) [1泊2日] 教育センター 40名(小15名、中10名、高15名、特支) ※実習助手受講可	◇ 学校における生徒指導・教育相談の基礎となる理論と技能について実践的な研修を行い、その指導力を高める。 ○ 生徒指導・学校教育相談の意義と役割(講義・演習) ◎ 今日の課題と学校教育相談(講義・演習) 講師: 神田外語大学 客員教授 嶋崎 政男 ○ 相談面接演習(講義・演習) ◎ 発達課題と児童生徒理解(講義) 講師: 法政大学 教授 渡辺 弥生	○
		<b>学校教育相談実践講座</b> 〔前期〕 6月22日(月)～6月23日(火) [1泊2日] 〔中期〕 10月5日(月)～10月6日(火) [1泊2日] 〔後期〕 2月4日(木)～2月5日(金) [1泊2日] 教育センター 24名(小8名、中8名、高8名、特支) ※実習助手受講可 ※下記講座を修了した者を対象者とする。 ① 学校カウンセラー(初級)講座 ② 学校教育相談基礎講座 ③ 平成元年～15年度の県教育委員会主催の カウンセリング研修会 ※ 初任者研修における「カウンセリング 研修」のみを修了した者は対象者とし ない。 ※ 前中後期とも必ず参加すること	◇ 生徒指導・教育相談を実施運営する上で必要な理論と技能について実践的な研修を行い、その指導力を高める。 ○ 学校教育相談活動の在り方(講義・演習) ○ 保護者とのよりよい関係づくり(講義・演習) ◎ チーム学校における生徒指導・教育相談の支援体制の在り方(講義・演習) 講師: 聖徳大学 教授 山口 豊一 ○ 児童生徒理解と学級集団理解(講義・演習) ◎ 学校教育相談に生かす理論(講義) 講師: 昭和女子大学大学院 教授 山崎 洋史 ○ 校内研修の進め方(講義・演習) ○ 特別な教育的ニーズのある児童生徒の理解と対応(講義) ◎ 解決志向のアプローチ(講義・演習) 講師: 高橋心理相談所 統括所長 西野 明樹 ○ これからの学校教育相談活動(講義・演習) ○ 事例研究実践Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(協議)	○
	B03	<b>予防・開発的教育相談講座</b> 6月15日(月) [1日] 教育センター 40名(小14名、中8名、高18名、特支)	◇ 教師と児童生徒の信頼関係及び児童生徒相互の好ましい人間関係づくりに役立つ予防・開発的な教育相談活動について、演習を中心とした実践的な研修を行い、その指導力を高める。 ◎ 校種共通編(講義・演習) 講師: 福島県スクールカウンセラー 二瓶 重和 ○ 校種別編(講義・演習)	○
情報教育講座	C01	<b>校務処理に生かす表計算活用講座</b> 10月14日(水) [1日] 教育センター 30名(小9名、中9名、高12名、特支) ※実習助手受講可	◇ 校務処理におけるExcel2016の様々な機能についての実践的な研修を行い、その技術と指導力を高める。 ○ 成績処理に生かせる関数とグラフ作成(講義・演習) ○ マルチシート・グループ集計(講義・演習) ○ ピボットテーブル(講義・演習) ○ 課題演習(演習)	○
		C02	<b>授業力向上のための ICT活用基礎講座(義務系)</b> 11月11日(水) [1日] 教育センター 20名(小10名、中10名)	◇ タブレットPC等の取扱いや授業における効果的な活用法を学び、授業力向上を図るとともに、校内でICTの活用を推進できる技術と指導力を高める。 ○ 教育の情報化の概要(講義) ○ ICT機器の操作法(講義・演習) ○ 効果的なICT活用事例と活用のポイント(講義・演習) ○ 授業設計ワークショップ(演習)

種類	講座 番号	講座名 備考(期日・日数、会場、人数、他)	目的・内容 (◎外部講師による講義等)	経験Ⅱ
情報教育講座	C03	授業力向上のためのICT活用基礎講座(県立系) 11月2日(月) [1日] 教育センター 20名(高20名)	◇タブレットPC等の取扱いや授業における効果的な活用法を学び、授業力向上を図るとともに、校内でICTの活用を推進できる技術と指導力を高める。 ○教育の情報化の概要(講義) ○ICT機器の操作法(講義・演習) ○効果的なICT活用事例と活用のポイント(講義・演習) ○授業設計ワークショップ(演習)	○
	C04	グループウェアで活用するG Suite実践講座 7月22日(水) [1日] 教育センター 20名(小5名、中5名、高10名、特支) ※実習助手受講可	◇校内グループウェアとしてのG Suite for Educationの活用法を学び、校務の情報化を推進するための知識と技術を高める。 ○グループウェアの概要(講義) ○校内グループウェアとしてのG Suite活用(講義・演習) ○各学校の校内共有サイトの構築(講義・演習)	○
	C05	ワークショップで学ぶ情報モラル教育講座 8月17日(月) [1日] 教育センター 20名(小7名、中7名、高6名、特支)	◇情報化社会が進展する中で、インターネットの現状を理解し、子どもたちに情報モラルや情報リテラシーを身に付けさせるための、新たな情報モラル教育の指導力向上を図る。 ○インターネット社会の現状(講義) ○ワークショップ「楽しいコミュニケーションを考える」(講義・演習) ○ワークショップ「スマホ利用のルール作り」(講義・演習)	○
小学校道徳講座	D01	「考え、議論する」小学校道徳科授業づくり講座 6月22日(月)～6月23日(火) [1泊2日] 教育センター 20名(小20名、特支)	◇道徳科の授業の充実を図るための実践的な研修を通して、指導力の向上を図る。 ◎「考え、議論する」道徳科の授業の在り方(講義) 講師：東京学芸大学大学院 教授 永田 繁雄 ○道徳科指導上の成果と課題(協議) ○考えを深める道徳科の授業の実際(講義・演習) ○子どものよさを価値付ける道徳科の評価の実際(講義) ○考えを深める道徳科の授業構想(協議・演習)	○
中学校道徳講座	D02	「考え、議論する」中学校道徳科授業づくり講座 7月2日(木)～7月3日(金) [1泊2日] 教育センター 20名(中20名、特支)	◇道徳科の授業の充実を図るための実践的な研修を通して、指導力の向上を図る。 ◎「考え、議論する」道徳科の授業の在り方(講義) 講師：宇都宮大学 准教授 和井内 良樹 ○道徳科指導上の成果と課題(協議) ○考えを深める道徳科の授業の実際(講義・演習) ○子どものよさを価値付ける道徳科の評価の実際(講義) ○考えを深める道徳科の授業構想(協議・演習)	○
特別活動講座 小・中学校	D03	子どもたちが支え合い、高め合う学級をつくる学級活動講座 8月17日(月) [1日] 教育センター 30名(小中30名、特支)	◇自主的・実践的な学級活動の時間の充実を図るための指導の在り方についての研修を行い、その識見と指導力の向上を図る。 ◎子どもが、学級が、学校が変わる特別活動(講義) 講師：玉川大学TAPセンター 准教授 川本 和孝 ◎学級活動の指導の実際(講義) ○学級活動における話し合いの充実に向けた指導のポイント(講義) ○学級活動の指導の改善策の検討(協議)	○
小・中学校放射線・防災教育講座	D04	放射線・防災教育指導力向上講座 8月6日(木) [1日] 教育センター 16名(小中16名、特支)	◇放射線・防災教育の充実に向けた指導のポイントを学び、授業、学校行事等における指導内容を構想する研修を通して、その識見と指導力の向上を図る。 ◎放射線・防災教育の充実に向けて(講義) ○指導内容の構想(協議・演習)	○
養護教諭講座	D05	養護教諭のための指導力向上講座(救急処置編) 8月7日(金) [1日] 教育センター 30名(小中高30名、特支) ※養護教諭対象	◇児童生徒の生命に関わる救急処置・危機管理を中心に、実践的な研修を通して、複雑多様化する児童生徒の健康課題解決に向けた専門性と実践力の向上を図る。 ◎「医療現場から学ぶ救急処置」(講義・演習) 講師：筑波大学附属病院 救急集中治療部 病院講師 柳澤 洋平 講師：筑波大学附属病院 救急集中治療部 医師 坂本 彩香 ○学校における危機管理(講義)	○

#### 4 自主講座（申し込み方法は、専門研修とは異なりますので、ご注意ください。）

種類	講座 番号	講座名 備考（期日・日数、会場、人数、他）	目的・内容 （◎外部講師による講義等）	経験Ⅱ
自主 講 座	1	<b>美術鑑賞入門講座</b> 12月5日（土）〔1日〕 教育センター 20名（小7名、中7名、高6名、特支）	◇ 育成する資質や能力にもとづいた鑑賞の指導法の在り方とともに、鑑賞の知識・技能を身につける。 ○ 鑑賞指導の在り方 ○ 鑑賞の基礎的な知識・技能 ○ 鑑賞指導の演習	×
	2	<b>基礎から学ぶ表計算入門講座</b> 6月6日（土）〔1日〕 教育センター 30名（小中高30名、特支）	◇ 表計算ソフトの初心者に対し、簡単な表の作成から基本的な関数やグラフの使い方などの演習を通して、操作方法の基礎を身に付ける。 ○ Excel2016の基本操作演習（講義・演習） ○ 関数、グラフ作成等の基本演習（演習）	×
	3	<b>子どものための ロボットワークショップ</b> 8月1日（土）〔1日〕 教育センター 12組（24名）	◇ 小学6年生と中学生を対象に教育用ロボットの制御を通して、プログラミングに対する興味、関心を高め、プログラミングに必要な「考え方（アルゴリズム）」を習得する。また、協働学習を通して様々な考えを理解し、課題解決能力を育む。 ○ ロボットの組み立て ○ ロボット制御の基礎（講義） ○ プログラミング	×
	4	<b>先生のための図画工作・美術鑑賞 指導法講座（郡山市立美術館）</b> 10月10日（土）〔1日〕 郡山市立美術館 20名（小中高20名、特支）	◇ 小学校図画工作・中学校・高等学校美術の鑑賞の指導について、講義、演習を通して美術教育における鑑賞の意義などを理解しながら、鑑賞の指導の在り方や教材研究の仕方を学び、その識見と指導力を高める。 ○ 鑑賞教育の意義と課題（講義・演習） ○ 鑑賞教材を活用した指導について（演習） ○ さまざまな鑑賞指導について（演習）	×
		<b>先生のための図画工作・美術鑑賞 指導法講座（いわき市立美術館）</b> 11月14日（土）〔1日〕 いわき市立美術館 20名（小中高20名、特支）	◇ 小学校図画工作・中学校・高等学校美術の鑑賞の指導について、講義、演習を通して美術教育における鑑賞の意義などを理解しながら、鑑賞の指導の在り方や教材研究の仕方を学び、その識見と指導力を高める。 ○ 鑑賞教育の意義と課題（講義・演習） ○ 鑑賞教材を活用した指導について（演習） ○ さまざまな鑑賞指導について（演習）	×



# VI 令和2年度 福島県教育センター 研修カレンダー

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
4	職能・専門 教育センター会場 小・中・高・実 養護・栄養・ 幼稚園	高初任研 基本 (44)	実初任研 基本 (10)					高等学校初任者研修 第1回指導教員連絡協議会・ 教科指導教員連絡協議会					小・中学校初任者研修 校長連絡協議会 指導教員連絡協議会 【4/15】県南・会津・南会津 【4/16】県北・県東			
								新規採用養護教諭研修(県立) 指導教員連絡協議会 (高・特) 専門指導員等連絡協議会					新規採用養護教諭研修【午後】 (小・中) 校長等連絡協議会 (小・中) 専門指導員等連絡協議会 新規採用学校栄養職員研修 校長等連絡協議会 専門指導員等連絡協議会			
	その他													高初任研 地区A・実初任研 養護新採研(高) 地区A-		
	小・中・高・実 養護・栄養・ 幼稚園															
	その他の会場															
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
5	市町村立小学校 新任教頭研修会 (67)		憲法記念日	みどりの日	こどもの日	水振替休日	市町村立中・特別支援学校 新任校長研修会 (29)				免許外教科担任研修会 1班 (60) 養・技・家			市町村立中・特別支 新任教頭研修会		
							県立学校新任校長研修会 (18)				免許外教科担任研修会 1班 保体			県立学校新任教頭研		
											市町村立小・中・ 特別支援学校 新任副校長研修会 (7)		新任主幹教諭研修会 (28)			
											県立学校 新任副校長研修会 (1)					
								幼新採研 地区別①(県北・相双)								
								幼新採研 地区別① (県中・県南)(会津・南会津)								





16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火		
高] 予防・開発的教育相談講座 (40)			B02[小中高] 学校教育相談実践講座(前期) (24)				A21[小中高] 児童・生徒の心をつかむ合唱指導講座 (20)		A22[小] 楽しみながら力を伸ばす図画工作科指導法講座 (10)							
			D01[小] 「考え、議論する」小学校道徳科授業づくり講座 (20)													
中] 経験者研修Ⅱ 指導研修 (50)			A09[中] 中学校数学科「数学的に考える資質・能力を育む授業づくり」講座 (12)						2年次研 (小) 1班 61		2年次研 (中) 56		高校経験者研修Ⅱ 教科Ⅰ・生徒指導 (85)			
小・中初任研 地区A 授業研修① (東北)																
小・中初任研 地区A 授業研修① (県南)									高初任研 実施校等訪問(前期) (東北)				小・中初任研実施校等訪問(前期) (県中)			
研 地区A 授業研修① (相双)			小・中初任研 地区A 授業研修① (会津・南会津)													
探研(小・中)地区A 校訪問①(東北)			養護新探研(小・中)地区A 学校訪問①(相双)						養護新探研(高) 実施校等訪問(前期)				養護新探研(小・中) 実施校等訪問(前期) (会津)			
探研(小・中)地区A 訪問①(県中・県南)																
探研(小・中)地区A 訪問①(会津・南会津)																
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
観察・実践講座 (10)			A05[小中] 社会的な見方・考え方を働かせた社会科の授業づくり講座 (18)				海の日		スポーツの日		A10[高] 課題の本質から統合的・発展的に考察する数学科問題作成・研究講座 (12)		A18[中] 教科書を活用して表現力を高める英語指導講座 (15)		A28[中] 実践力を高める技術科講座 (情報・エネルギー変換機) (10)	
			O04[小中高] グループウェアで活用するG Suite 実践講座 (36)								小初任研 宿泊研修B 1班 (80)		2年次研 (小) 2班 60		栄養経験者研修Ⅱ 宿泊研修 (2)	
							幼新探研 地区別② (東北・相双)				小・中経験Ⅱ 道徳・特活選択(東北)		養護経Ⅱ(小・中) 道徳・特活選択(東北)		栄養経Ⅱ 道徳・特活選択(東北)	
											小・中初任研 地区A カウンセリング(県中・県南)		高初任研 地区A 実初任研 地区 カウンセリング(県中・県南)			
							幼新探研 地区別② (県中・県南)				幼新探研 地区別② (会津・南会津)		A23[小中高] 創造性を育む 図画工作・美術の鑑賞指導法講座 (前期) (12)		養護新探研(小・中・高) 地区Aカウンセリング(県中・県南)	



16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
<p>的で深い学びの実現に向けた中学校理科講座(15)</p> <p>が苦手な児童生徒のための体育指導講座(20)</p> <p>A08[中高] 社会科・地理歴史科・公民科の評価問題作成・研究講座(12)</p> <p>教頭のためのマネジメント講座(80)</p>															
<p>C05[小中高] ワークショップで学ぶ情報モラル教育講座(20)</p> <p>D03[小中] 子どもたちが支え合い、高め合う学級をつくる学級活動講座(30)</p>															
<p>幼稚園等新採研 宿泊研修(70)</p>															
<p>小・中初任研 地区A カウンセリング(東北)</p> <p>高初任研 地区A・実初任研 地区カウンセリング(東北)</p> <p>養護新採研(小・中・高)地区A カウンセリング(東北)</p>															
<p>小・中初任研 地区A カウンセリング(金津・南金津)</p> <p>高初任研 地区A・実初任研 地区 カウンセリング(金津・南金津)</p> <p>高初任研 地区A・実初任研 地区 カウンセリング(いわき)</p> <p>高初任研 教科別研修 1班</p>															
<p>経験Ⅱ 道徳、特活選択(相双)</p> <p>Ⅱ(小・中) 道徳、特活選択(相双)</p> <p>養護Ⅱ 道徳、特活選択(相双)</p> <p>小・中経験Ⅱ 道徳、特活選択(県中・県南)</p> <p>養護新採研(小・中・高) 地区A カウンセリング(金津・南金津)</p> <p>養護新採研(高) 地区Aカウンセリング(いわき)</p> <p>養護Ⅱ(小・中) 道徳、特活選択(県中・県南)</p> <p>栄養Ⅱ 道徳、特活選択(県中・県南)</p>															
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
<p>敬老の日</p> <p>秋分の日</p> <p>養護教諭専門研修講座(15)</p> <p>中学校経験者研修Ⅱ 教科指導研修(35)</p> <p>小初任研 宿泊研修B 3班(80)</p> <p>中・高経験者研修Ⅰ 教科指導研修 1班(62)</p> <p>養護教諭経験者研修Ⅰ 宿泊研修(20)</p>															
<p>初任研 地区A へき地校(東北)(県中)(県南)(相双)</p> <p>小・中初任研 地区A へき地校(金津・南金津)</p> <p>研修 2班</p>															

# VI 令和2年度 福島県教育センター 研修カレンダー

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
10	職能・専門 A04[中高] 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた国語科の授業改善講座(12) A11[中高] 統計的探究プロセスを充実させる中学校・高等学校数学科授業づくり講座(12) A16[中高] 発問で授業を活性化させる英語指導講座(16) B02[小中高] 学校教育相談実践講座(中期)(24)														
	小・中・高・実 中・高経験者研修Ⅰ 教科指導研修 1班(62) 中・高経験者研修Ⅰ 教科指導研修 2班(43)														
	養護・栄養・幼稚園 高初任研 地区A・実初任研 地区 一般Ⅱ(県北) 養護新探研(高) 地区A 一般Ⅱ(県北)														
	その他 高初任研 地区A・実初任研 地区 一般Ⅱ(県北) 養護新探研(高) 地区A 一般Ⅱ(県北)														
	小・中・高・実 小・中初任研地区A 特別支援学校(県中) 高初任研 地区A・実初任研 地区 一般Ⅱ(県中・県南)(会津・南会津)(いわき)(相双) [小中高] 先生のための園面工作・美術鑑賞指導法講座 郡山市立美術館(20)														
	養護・栄養・幼稚園 養護新探研(小・中) 地区A 学校訪問②(県北) 養護新探研(小・中) 地区A 特別支援学校(県中) 栄養新探研 地区A 特別支援学校(県中) 養護新探研(高) 地区A 一般Ⅱ(県中・県南)(会津・南会津)(いわき)(相双) 養護新探研(小・中) 地区A 学校訪問②(相双) 養護新探研(小・中) 地区A 学校訪問②(会津・南会津) 養護新探研(小・中) 地区A 特別支援学校(相双) 栄養新探研 地区A 特別支援学校(相双)														
	職能・専門 C03[高] 授業力向上のためのICT活用基礎講座(県立系)(20) A27[小中高] ICTを活用した保健体育科の授業づくり講座(20) C02[小中] 授業力向上のためのICT活用基礎講座(義務系)(20) A30[中高] 実践的・体験的な学習の充実を園家庭科講座(消費生活・環境編)(10)														
	小・中・高・実 文化の日 養護新探研 宿泊研修B(31) 福島県初任者研修等実施協議会														
	その他 小・中経験Ⅱ 生徒指導(県北)														
	小・中・高・実 小・中初任研 実施校等訪問(後期 南会津) 小・中初任研 地区A 授業研修②(県南[小]) 高初任研 実施校等訪問(後期 県南) 小・中初任研 地区A 授業研修②(県南[中]) 小・中初任研 地区A 授業研修②(会津・南会津) [小中高] 先生のための美術鑑賞指導法 いわき市立美術館 小・中初任研 地区A 授業研修②(県中) 小・中初任研 地区A 授業研修②(相双) 小・中経験Ⅱ 生徒指導(相双) 小・中経験Ⅱ 生徒指導(会津・南会津) 小・中初任研 地区A 共同調理場実地研(県北)(相双) 栄養新探研 地区A 共同調理場実地研(会津・南会津)														







# VI 令和2年度 福島県教育センター 研修カレンダー

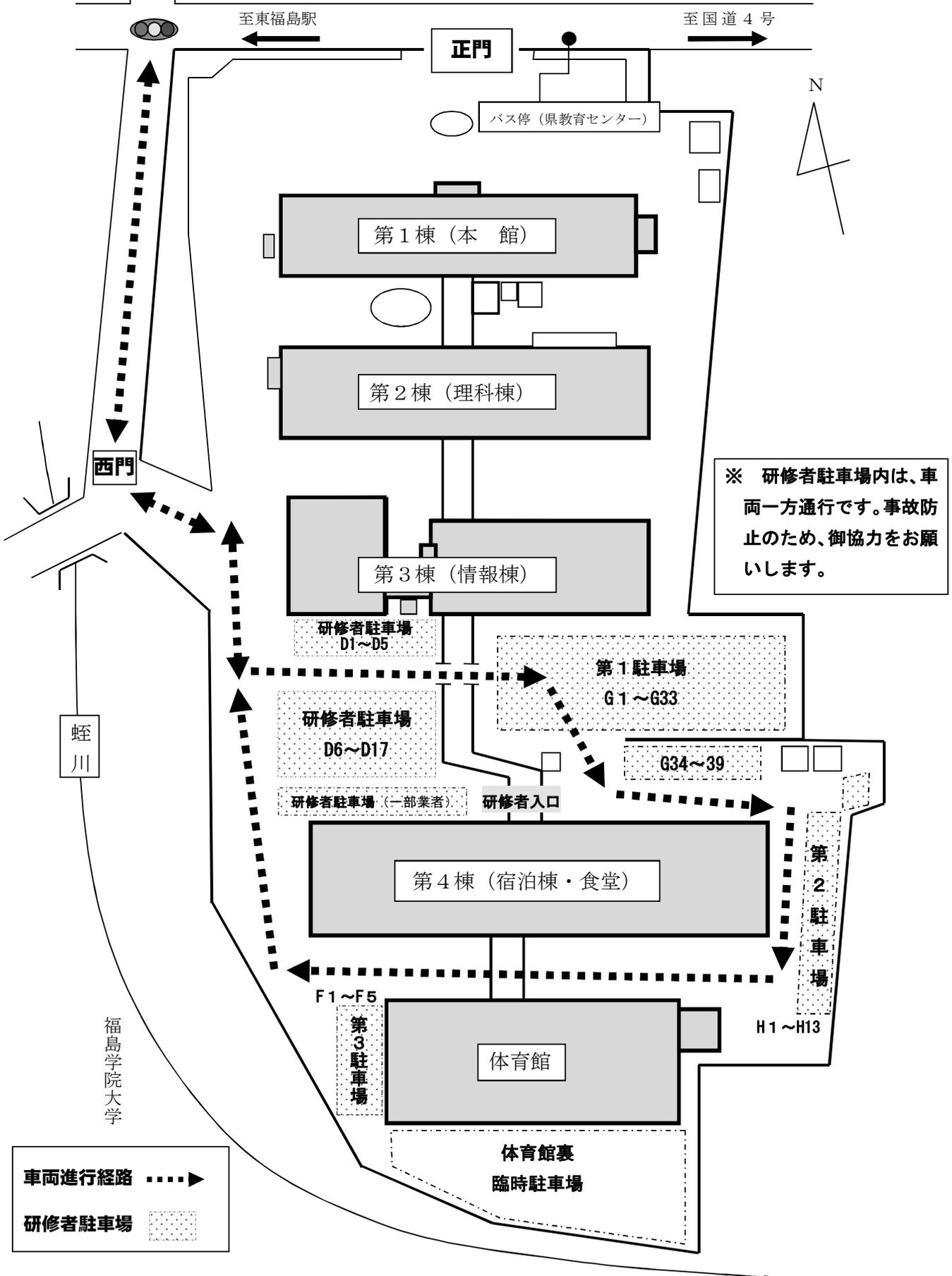
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		
2	職能・専門		B02[小中高] 学校教育相談実践講座(後期) (24)									木 建国記念の日					
	教育センター会場 小・中・高・実		高校経験者研修Ⅱ 教科研修Ⅱ (85)					高校初任者研修 二次研修 (44)									
	養護・栄養・ 幼稚園																
	その他																
	小・中・高・実 その他の会場 養護・栄養・ 幼稚園																
幼稚園																幼稚園	
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		
3	職能・専門																
	教育センター会場 小・中・高・実																
	養護・栄養・ 幼稚園																
	その他																
	小・中・高・実 その他の会場 養護・栄養・ 幼稚園																





2 敷地案内図（研修者駐車場案内）

※ 来所・退所時は、西門を御利用ください。また、交通量が多く、見通しも悪いため、十分ご注意ください。



# カリキュラムセンター事業内容のご案内

カリキュラムセンターは、県内の先生方や学校が日常の教育活動でお困りのことについて相談を受け、様々な支援を行う教育センターの窓口です。相談室を当センターの第1棟2階に設置しています。電話や来所、研修の合間に来室しての相談をお待ちしています。

## ◆カリキュラム・コンサルティング

カリキュラム全般に関する相談や問い合わせに、助言や支援活動を展開します。

### □ カリキュラム全般にかかわる相談受付

【先生方個人・学校単位での支援と援助】

- ・教育課程・教科指導に関すること
- ・授業構想(単元構成・授業展開)に関すること
- ・具体的な指導方法に関すること
- ・教材・教具に関すること



カリキュラムセンター相談室

来所・電話・FAX・Email

## 1 教職員研修の支援

小・中・高等学校等への積極的な支援を進めます。

### □ 公立小・中学校、県立学校等の教職員への研修支援

【出前講座等による指導主事派遣】

- ・カリキュラムセンターでは、全教職員を対象にした研修をしたい、実際の授業を見てもらい直接指導を受けたい・・・など、学校等の要望を踏まえた指導主事派遣を行っています。
- ・教職員研修の出前講座の内容につきましては、教育センターWebサイトのカリキュラムセンター教職員講師派遣の「出前講座一覧」をご覧ください。  
※ 受付は、実施日の3ヶ月前から行います。また派遣期間は5月～2月です。  
※ 派遣は1校、原則2回までとします。日程調整等の都合上、やむを得ず派遣できない場合もあります。ご了承ください。  
※ まずは、ご希望の内容を当センターWebサイトの講師派遣問い合わせフォームよりお知らせください。

## 2 カリキュラムに関する情報・資料の収集と提供

カリキュラム関連情報を幅広く収集・提供します。

- 各種研究に係る紀要・研究集録、県内小・中・高等学校の学校要覧・教育課程・教育計画の展示と閲覧
- 県内小・中・高等学校使用教科書の閲覧と貸出
- 教育図書・研究資料等の検索、閲覧と貸出

## 3 Webを通じた教育資料・情報の提供

関係機関等とのネットワークを広げ、教育情報を提供します。

- 教育センターWebでの授業づくりサポート
- 出前講座、聴講講座一覧等の情報提供と研修の継続支援

お気軽に御相談ください。



お問い合わせ先  
福島県教育センター 総合企画チーム

TEL 024-553-3193  
FAX 024-554-1588  
Email: center-kikaku-gr@fcs.ed.jp